

## 令和7年度 第6回板倉区地域協議会 次第

日時：令和8年1月27日(火)  
午後6時～

場所：板倉区総合事務所  
201・202会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 自主的な審議

- ・ 住民ワークショップ成果報告と今後の方向性について

4 報告事項

- ・ 上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について

5 その他

6 閉 会

令和 7 年度

地域フォーラム・ワークショップ・地区まち交流会

# 報 告 書



令和 8 年 1 月

板倉区地域協議会

## 目 次

### 取組の経過

1. 「地域フォーラム」に向けて	——	1 P
2. 「地域フォーラム」の開催	——	2 P
3. 「ワークショップ」に向けて	——	2 P
4. 「ワークショップ」の開催	——	3 P
5. 「地区まち交流会」の開催	——	4 P

### 作成した資料

・ 「地域フォーラム」について	——	5 P
・ 板倉区全体の人口診断	——	6～18 P
・ 町内会アンケート結果	——	19～24 P
・ 地元関係図	——	25 P
・ 人口予測と安定化シナリオ	——	26～27 P
・ ワークショップ参加者一覧	——	28 P
・ ワークショッププログラム	——	29 P
・ 地元天気図	——	30～32 P
・ 取組表	——	33～35 P
・ まちづくりワークショップ取組表	——	36 P
・ 6つの柱	——	37～39 P

## 取組の経過

### 1. 「地域フォーラム」に向けて

#### ① 令和6年度第8回地域協議会（令和7年2月25日開催）

地域協議会が自主的な審議を進めるにあたり、板倉区の住民・町内会・活動団体等の皆さんに板倉区の現状や課題を知ってもらい、その解決に向けての提案など住民意識の醸成につなげるきっかけ作りとして、地域協議会主催による「地域フォーラム」を開催することにしました。

具体的には、町内会長やまちづくり振興会などの関係者を一同に会し、基調講演や地域課題の発表、意見交換を行う等の意見がありました。

#### ② 令和6年度第9回地域協議会（令和7年3月25日開催）

各地域協議会委員が「地域フォーラム」のテーマや実施方法について意見を出し合いました。

《地域フォーラムについて→5P》

#### ③ 令和7年度第1回地域協議会（令和7年4月22日開催）

これまでの協議では地域コミュニティの維持が大きな課題であるため、テーマを「地域人口の安定化や定住」としました。

また、上越市創造行政研究所が行う「地区別まちづくり住民ワークショップ」について事務局から報告があり、今後は同研究所と相談しながら「地域フォーラム」の内容や日程、参加者を具体化していくことになりました。

#### ④ 令和7年度第2回地域協議会（令和7年5月27日開催）

上越市創造行政研究所が、板倉区の将来人口予測と町内会長への聞き取り調査の結果を「地域フォーラム」で発表する旨の報告がありました。

#### ⑤ 令和7年度第3回地域協議会（令和7年7月22日開催）

「地域フォーラム」は地域協議会が主催、上越市創造行政研究所の協力によって実施することとしました。内容は同研究所所長の基調講演、板倉区の将来人口予測や町内会長へのアンケート結果の発表等になりました。

#### ⑥ 町内会長ヒアリング（令和7年7月30日実施）

上越市創造行政研究所が区内6地区の連絡協議会会長と面談し、町内会長の業務や町内会組織の運営方法等についてヒアリングを行いました。

## 2. 「地域フォーラム」の開催

### ☆ 実績

日 時：令和7年8月19日（火）18時30分～20時

場 所：板倉コミュニティプラザ3階 市民ホール

主 催：板倉区地域協議会

協 力：上越市創造行政研究所

参加者：74名

内 容：基調講演（上越市創造行政研究所 藤山浩所長）

調査結果報告

≪板倉区全体の人口診断→6～18P≫

≪町内会アンケート結果→19～24P≫

意見交換

## 3. 「ワークショップ」に向けて

### ① 地元関係図の作成

今後の地域の取り組みには、事業内容やお金の使い方、そして地域の仕組みも分野横断的に行う必要があります。

地元関係図は、団体・組織とその周辺を階層（縦軸）と分野（横軸）ごとに記載し、それらの関係性（ヒト・モノ・カネの関係）を地区内網羅的に図示したものです。団体や人材の繋がりとお金の流れを見える化することで、地域の仕組みをどうしていきたいか等を考えるための材料として活用します。

≪地元関係図→25P≫

### ② 職員研修（令和7年8月20日実施）

ワークショップでファシリテーター（会議を円滑に進める役割）を務める職員に対して事前研修を行いました。

#### ○ 板倉区の人口予測と安定化シナリオ

人口を安定化させるため必要な定住増加目標を設定しました。人口安定化のためには実際どのくらいの定住を増加させればよいか。「これならできる」と思われる組み合わせを考えました。

≪人口予測と安定化シナリオ→26～27P≫

#### ○ 地元天気図

地元関係図上に、定住を実現するための地域の強みや弱み、連携不足などの現状を天気図にまとめ、地域の現状を見える化する方法を学びました。後日、ワークショップメンバーが板倉区の地元天気図を作成しました。

≪ 2P ≫

## 4. 「ワークショップ」の開催

### ○ ワークショップメンバー

住んでいる地域と年齢を考慮して（平場／山間地）（ヤング／ベテラン）を組み合わせた6チームを編成しました。

《ワークショップ参加者一覧→28P》

### ○ スケジュール

地域の現状を把握する、定住を実現するためのアイデアを出し合うなど、各回のテーマを決めて、取組全体の流れを示しました。

《ワークショッププログラム→29P》

### ① 住民ワークショップ【第1回】（令和7年9月17日実施）

地域の強み・弱みや連携の良さ・弱さを、地元関係図上に「天気図」として表すことで、現状の見える化を行いました。また、話し合った内容をグループごとに発表を行いました。

《地元天気図→30～32P》

### ② 住民ワークショップ【第2回】（令和7年10月6日実施）

次の手順で作業を行いました。

- A) 定住実現のため、何とか活かしたい・盛り上げたいところはどこか？
- B) 重点的に取り組む柱を3つに絞る（3本柱）
- C) 柱ごとに具体的に何をやるべきか？（短期・中期・長期）

別表に整理して話し合った内容をグループごとに簡単に発表を行いました。

《取組表→33～35P》

ここまで、重点的に取り組む3本柱×6チーム＝18本の柱が作られ、後日6本の柱に集約しました。

《まちづくりワークショップ取組表→36P》

### ③ レゴブロックを使ったワークショップ（令和7年10月23日実施）

板倉中の1年生44人が、レゴブロックを使ってまちづくりを考えるワークショップを行いました。これは住民ワークショップで出た地域課題や資源を参考に、生徒たちが考える未来の板倉をジオラマにしたものです。

### ④ 住民ワークショップ【第3回】（令和7年11月25日実施）

定住の実現に向け提案した6つの柱の取組内容（短・中・長期）の具体化と推進体制を考えました。また、話し合った内容はグループごとに簡単に発表を行いました。

《6つの柱→37～39P》

## 5. 「地区まち交流会」の開催

人口減少等の課題解決に向け、板倉区の地区まちワークショップ参加者が移住定住のアイデアを発表しました。また、定住支援コーディネーターの活動報告も共有されたほか、上越市創造行政研究所の活動報告や地区まちモデル地区の取組をパネル展示しました。

### ☆ 実績

日 時：令和7年12月14日（日）13時30分～16時

場 所：板倉農村環境改善センター

主 催：上越市創造行政研究所

協 力：板倉区地域協議会

参加者：120名

内 容：板倉区における地区まちワークショップ成果発表  
定住支援コーディネーター活動報告

## 作成した資料

### 地域フォーラムについて

#### (1) テーマ

- ① 健康福祉部会で実施予定のアンケートについて説明する。
- ② 後継者の育成（地域活動の担い手不足）
- ③ 地域の歴史と文化の共有（地域の歴史や文化を振り返り、次世代に伝える方法を考える）
- ④ 多様性と包摂性の促進（様々な住民が参加できるような環境を作る）
- ⑤ 地域協議会と活動団体等との意見交換会や、部会が実施するアンケート調査などとの関連を考え、テーマや開催時期を検討する。
- ⑥ 若者のふるさと離れに対応したまちづくり。人口減少に歯止めをかける。
- ⑦ 農業問題について。特に当区について後継者の問題や大規模経営、企業の参入による田んぼの管理などの多くの問題をかかえている。各農業に関係する個人、団体に意見を求める場を設けてみては。
- ⑧ 上越市、板倉区在住の方に向けて、心にのこるイベントや意見交換、町内会長活動団体との意見交換の実施
- ⑨ 地域協議会合同研修会の更なる活用について
- ⑩ テーマを事前に配布し、町内会の役員などの意見をまとめる。

#### (2) 実施方法

- ① 質問や意見は当日ではなく後日いただいて回答する。重要な案件は、広報等で掲載する。
- ② キーノートスピーチ（基調講演）、ワークショップ
- ③ 基調講演、パネルディスカッション
- ④ 参加者が意見を出し合えるワークショップ形式を取り入れる。
- ⑤ 町内会長連絡協議会と意見交換し、地域協議会の各部会による方向性を確認する。
- ⑥ 人口流出現象への対策を実施している市町村の取り組みを紹介してもらい、グループごとにワークショップ等板倉区での取り組みを考える。
- ⑦ 全体会議
- ⑧ 基調講演とワークショップ
- ⑨ 年1回の合同研修会(中郷、清里、板倉、牧)の開催方法の再考。協議員会員参加による合同研修会の他、各地区代表者による情報交換会を兼た研修会の開催など。
- ⑩ グループ単位でワークショップを実施する。

#### (3) その他

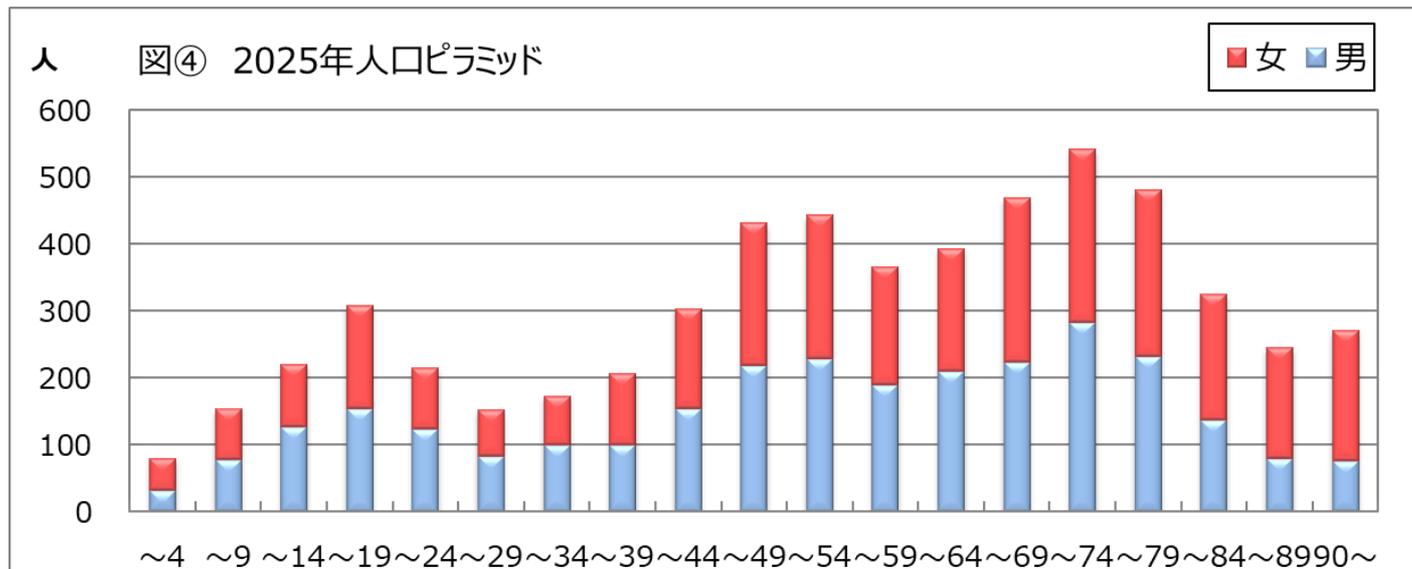
- ・ 見学した北部体育館について、板倉北部工業団地の企業の責任者等との意見交換が必要なのではないか。
- ・ 各種団体において、役員のみ手がいないことを実感している。
- ・ 地域コミュニティの一体感が希薄化、無関心になっている。
- ・ 何かをするのにリーダーとなる人が少ない。
- ・ 昨年11月の牧区（深山荘）での合同研修会に参加し、板倉区以外の地域協議会の活動状況などが分かり参考になった。

# 1. 板倉区全体の人口診断

## (1) 現状分析

\* 2020年・2025年4月末の  
住民基本台帳に基づく

### ①現在の年齢構成

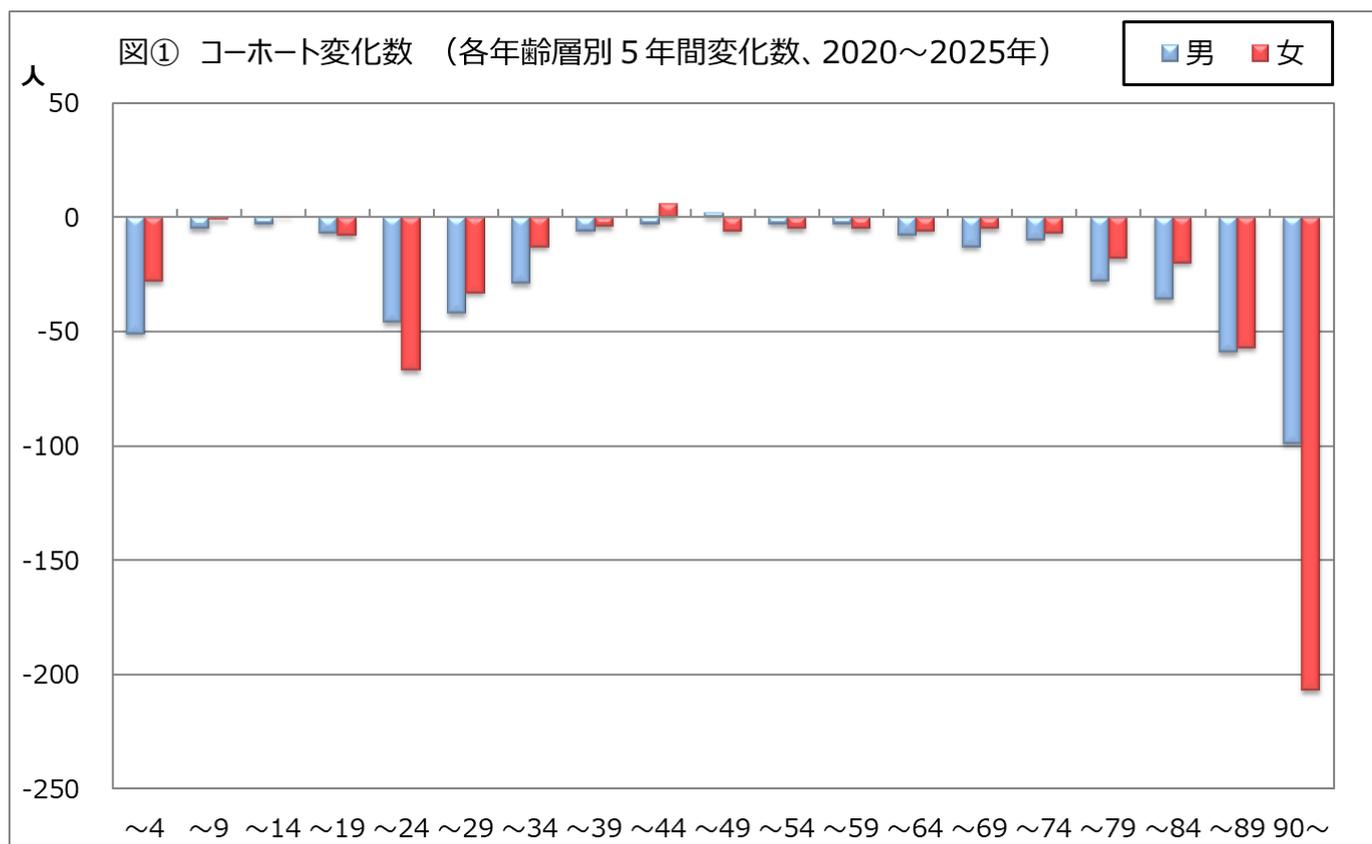


人口5,775人、高齢化率40.4% (75歳以上22.9%)

主力世代=70代前半

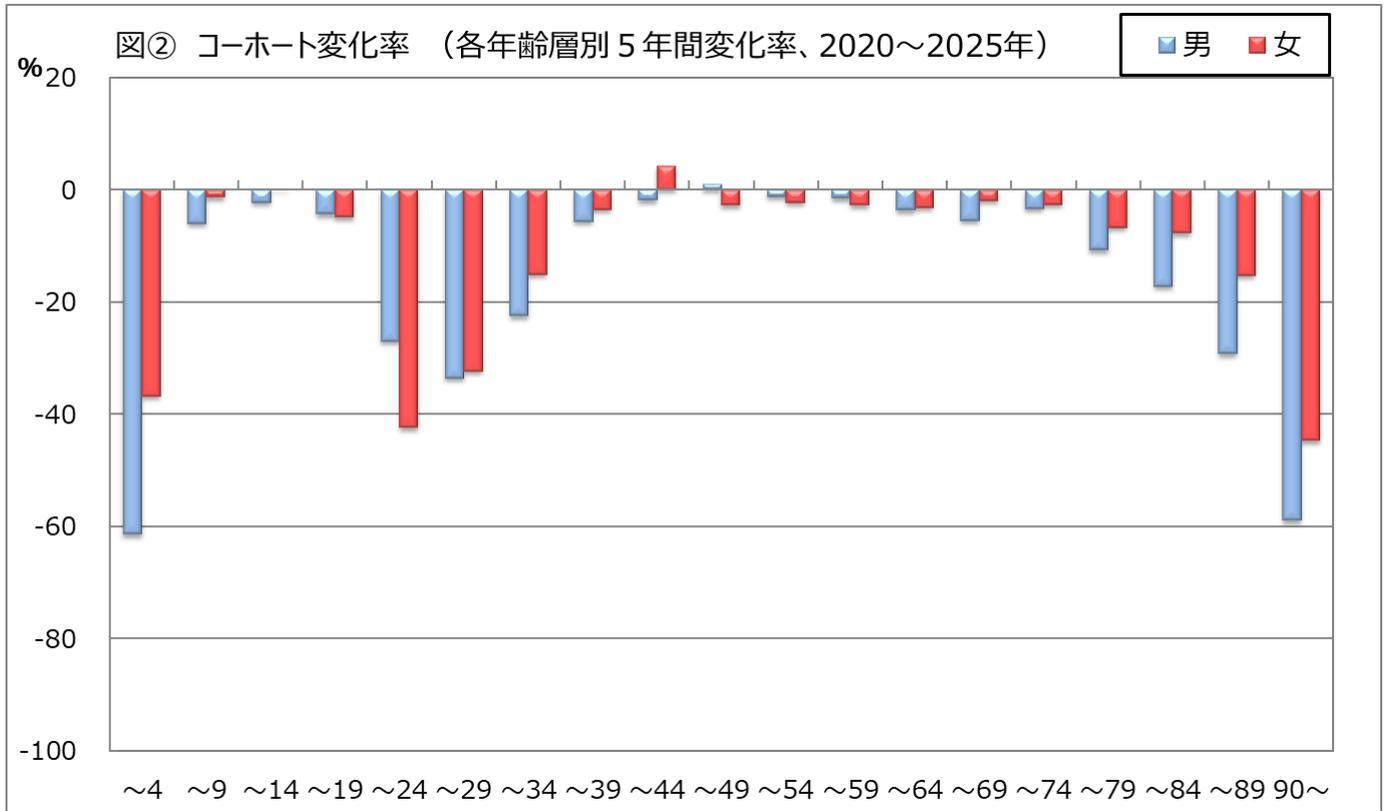
\* 農業の平均引退年齢76.7歳

### ②-1年年齢階層別の人口増減数(2020~2025年)



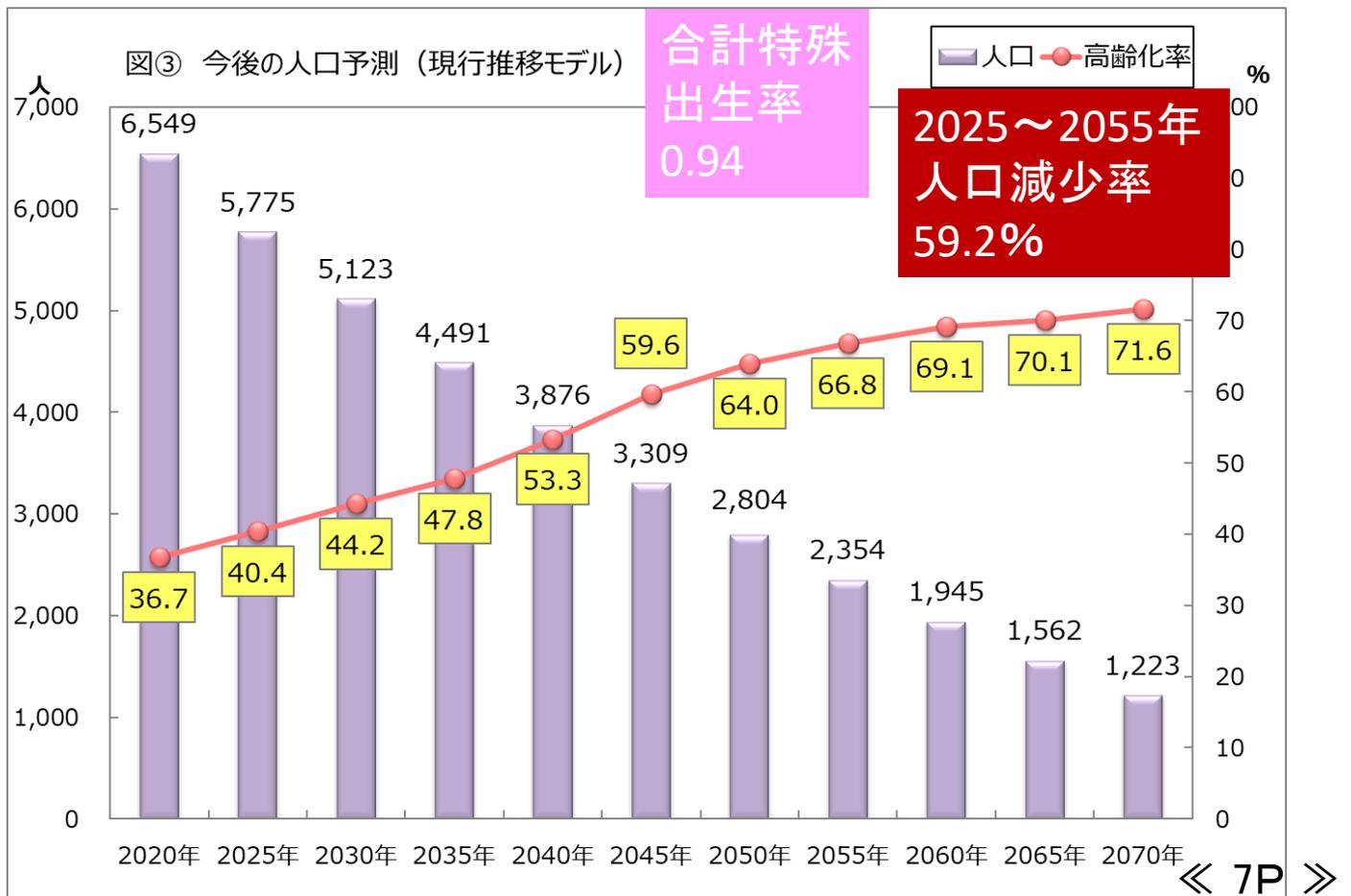
20代~30代前半で流出超過大。その後の取り戻しも十分でない。4歳以下の減少も急速。40代で男女の流入超過あり。

## ②-2年階層別の人口増減率(2020~2025年)



20代~30代前半で流出超過大。その後の取り戻しも十分でない。4歳以下の減少も急速。40代で男女の流入超過あり。

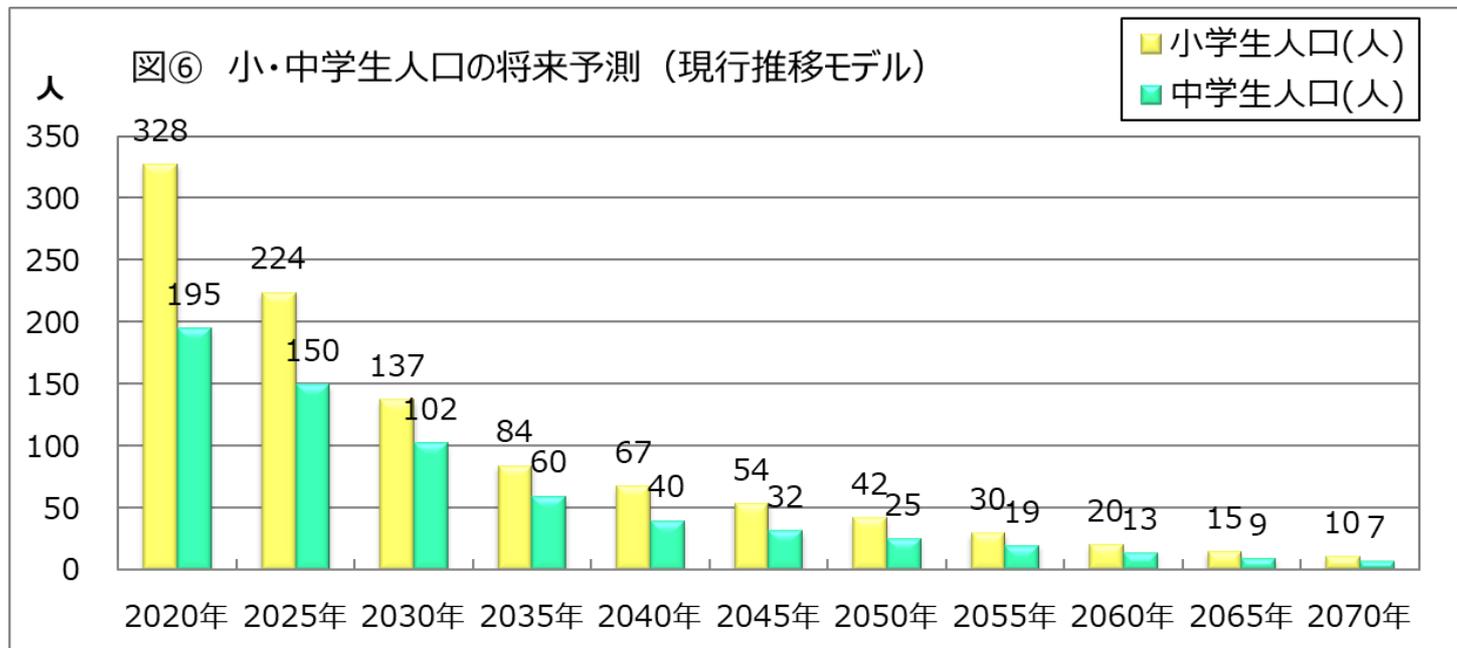
## (2) 現状推移予測 ①人口・高齢化率2020~2025年版



何もしないと、人口減少・高齢化がかなり急速に進行する

## ②小・中学生の人口予測(現状推移シナリオ)

2020～2025年版



小・中学生数も、何もしないでいると。10年以内で半減する可能性もあり得る。

### (3) 人口安定化シナリオ例

【出生率・流出率・定住増加】の3つを組み合わせたシナリオが検討。目標:30年後、2055年時人口が現在の7割以上、子ども人口が現在の9割以上、男女バランスの保持。

●出生率:現行の0.94→1.80へ向上

●流出率:10代後半～20代前半の流出率は  
男27%、女42%と現状通り

●定住増加目標:

現在人口の1.0%(100人に1人)

20代前半男女1組(2名) ☺☺ 8組

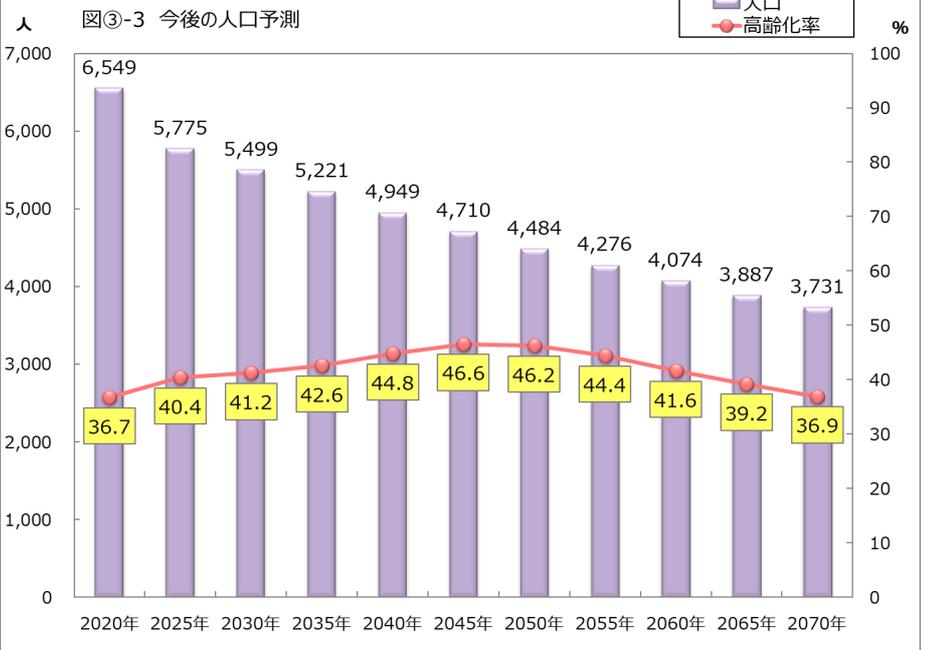
30代子連れ夫婦1組(3名) ☺☺☺ 8組

60代定年帰郷夫婦1組(2名) ☺☺ 8組

合計24組  
56人

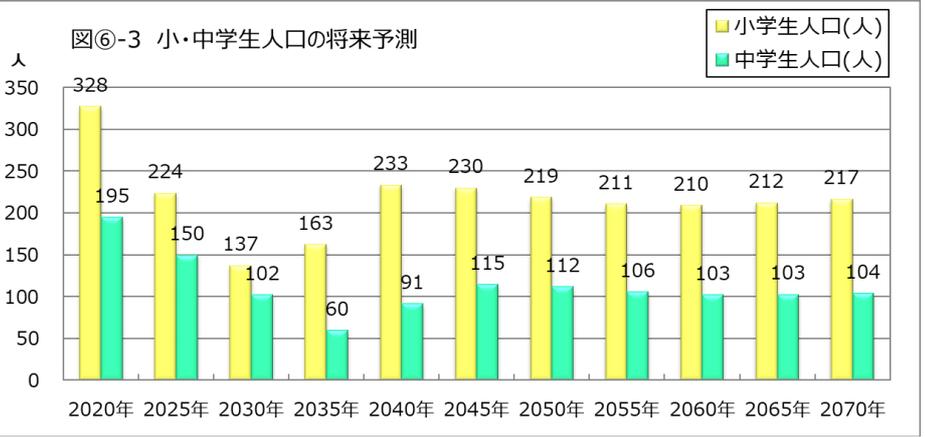
# ①今後の人口 ・高齢化率予測

現在の7割でほぼ安定へ



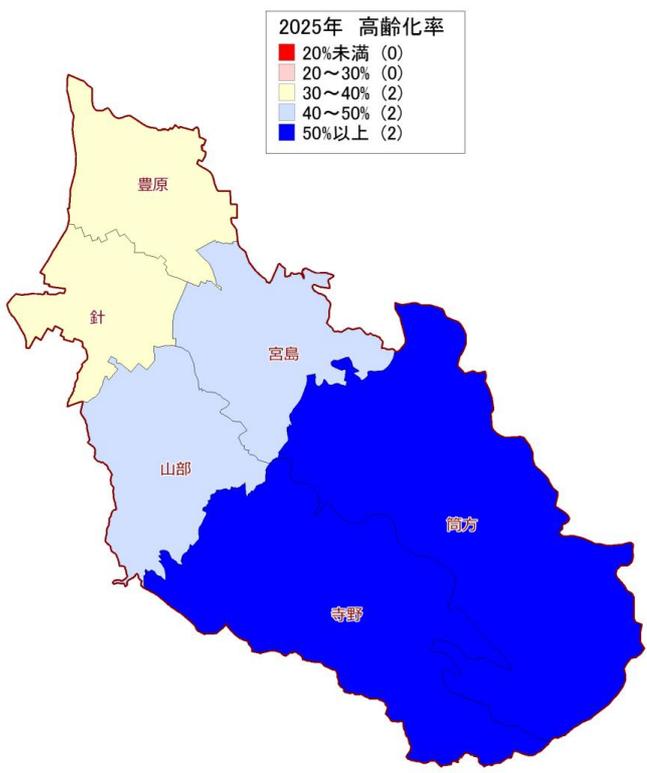
# ②小・中学生の人口予測

現状に回復し安定へ

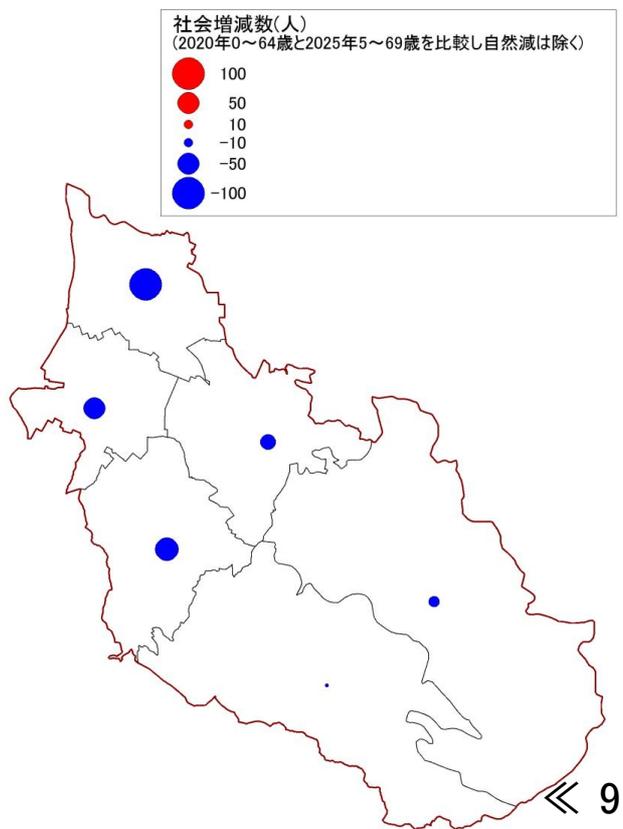


## 2. 地区連絡協議会6エリア別の人口診断

### <2025年高齢化率>

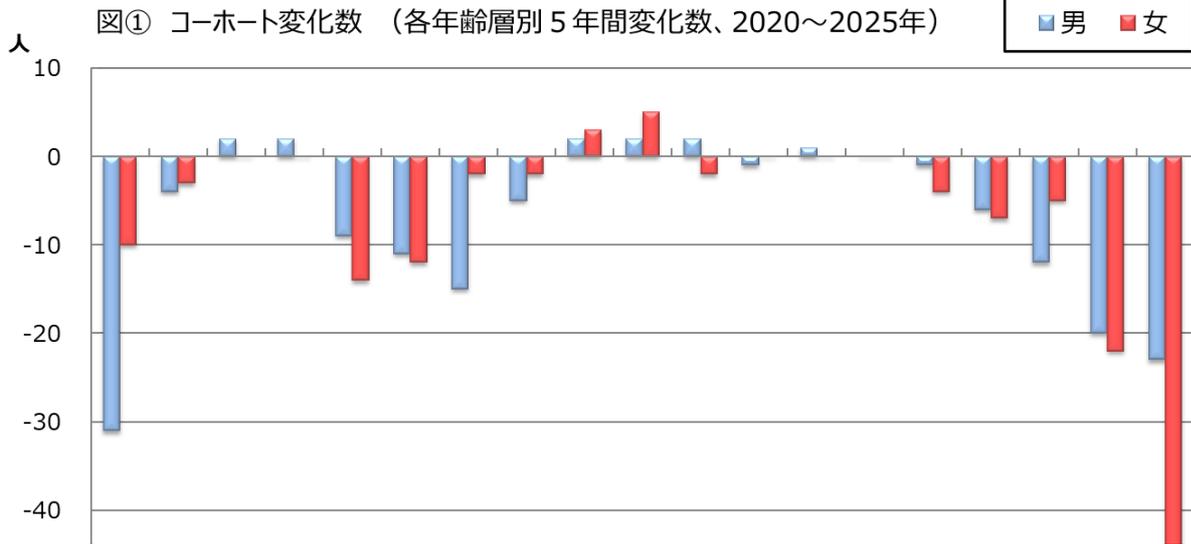
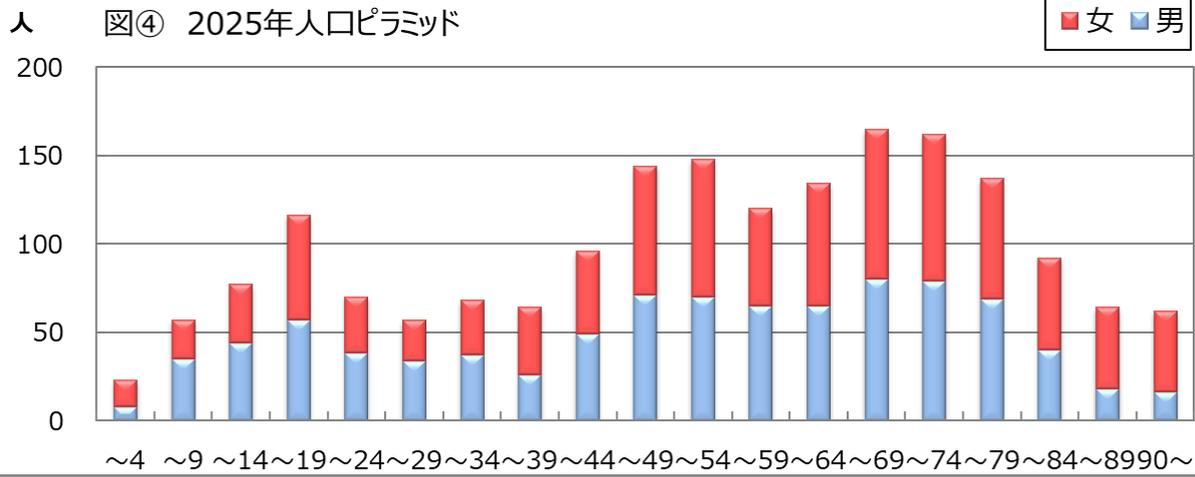


### <2025年社会増減数>

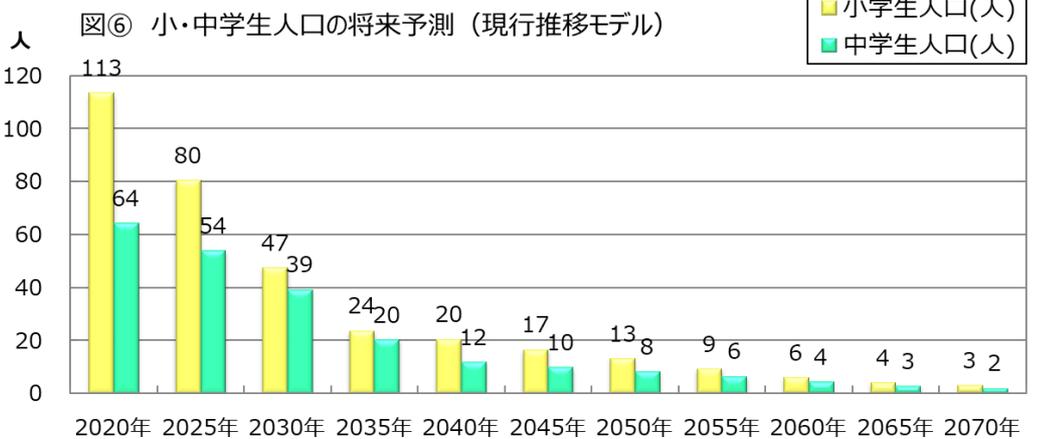
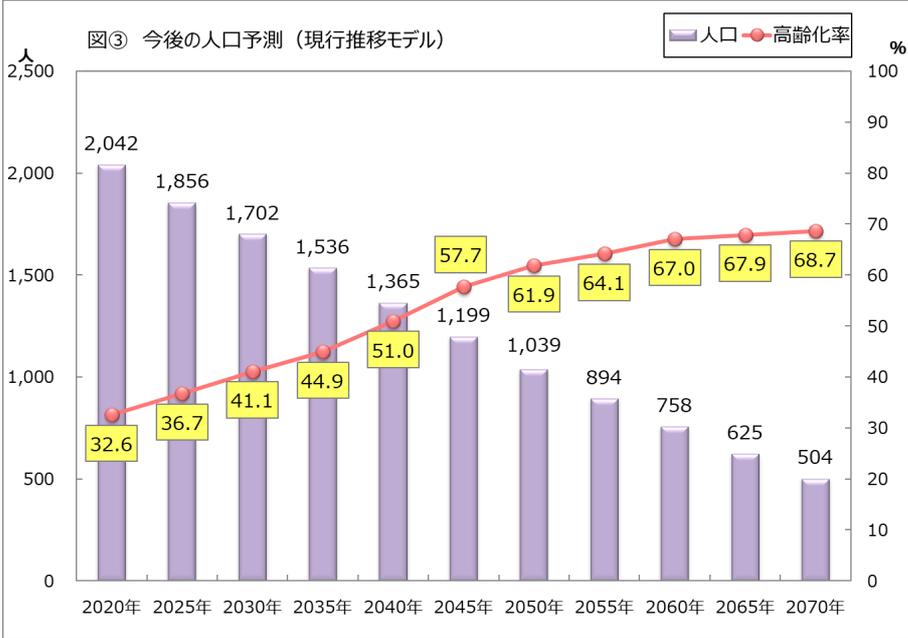


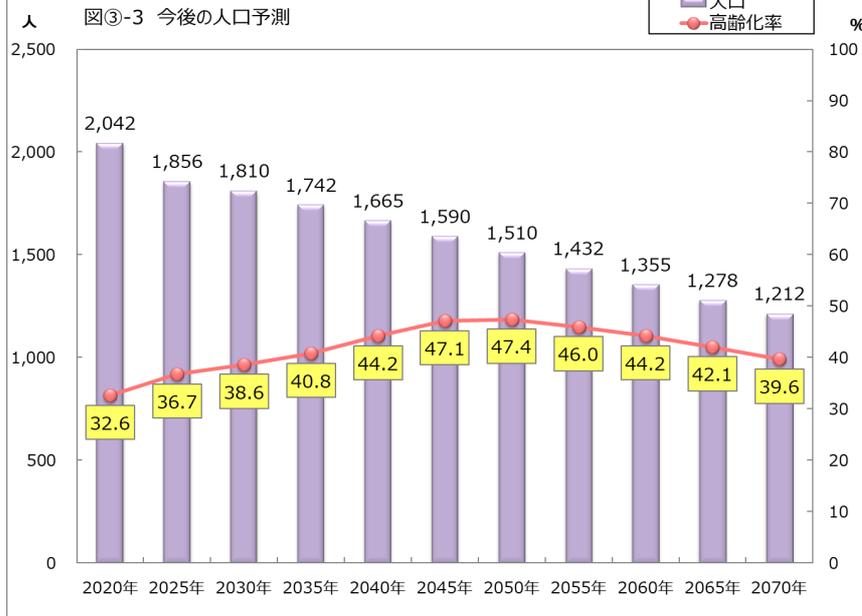
《 9P 》

6つのエリア別に人口の現状、予測、安定シナリオを検討



針 地区 (現状推移予測)





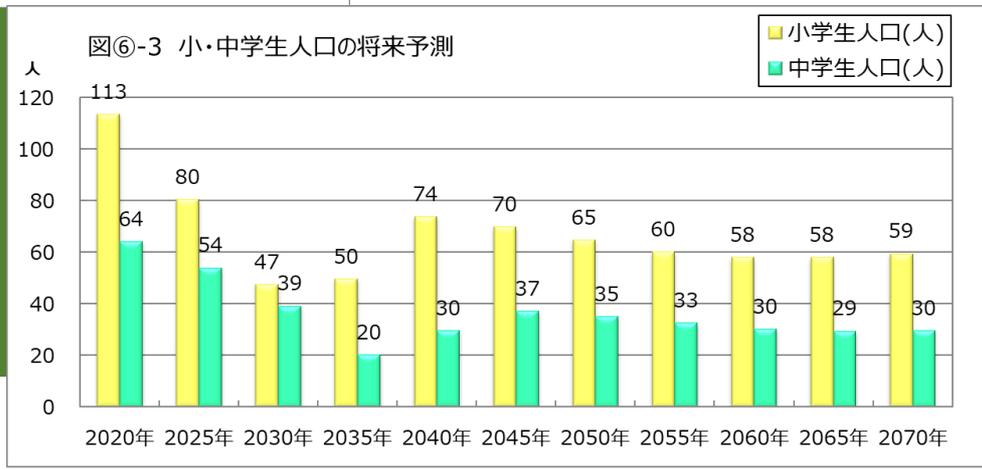
人口、高齢化率予測

# 針 地区 (安定シナリオ例)

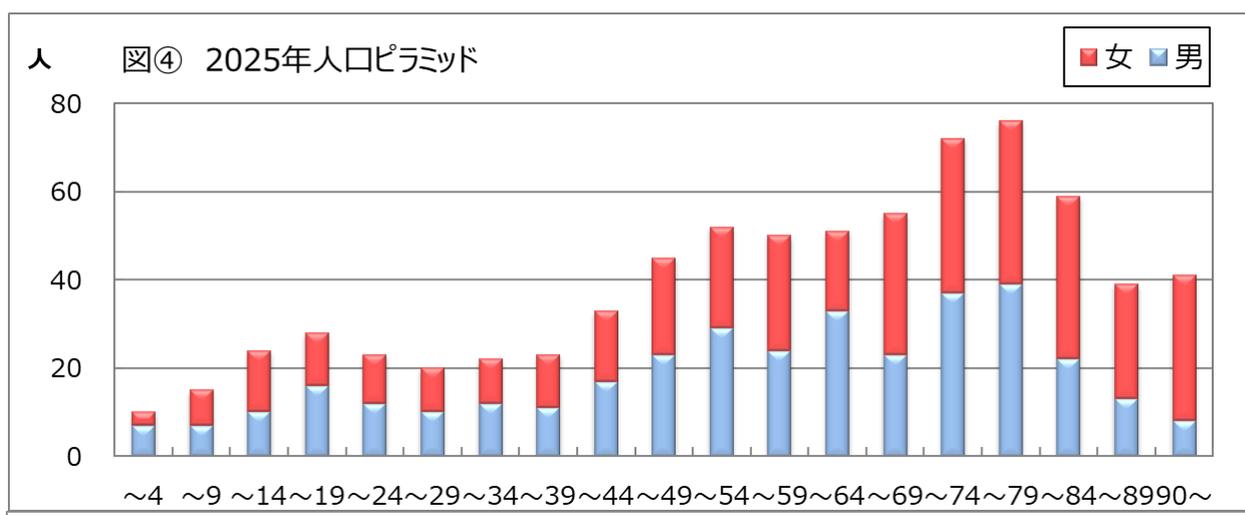
取り組み内容

- ①出生率0.74→1.80
- ②定住増加(1年間)  
20代前半男女 +2組  
30代前半子連れ夫婦 +2組  
60代前半夫婦 +2組  
合計6組、14人、人口0.8%分

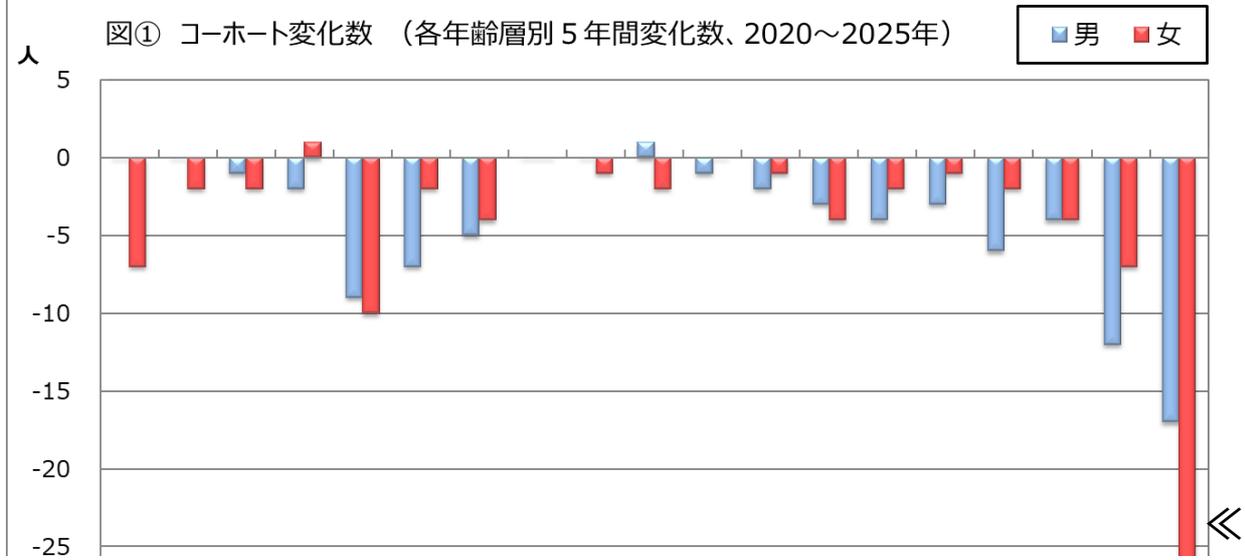
小中学生数予測



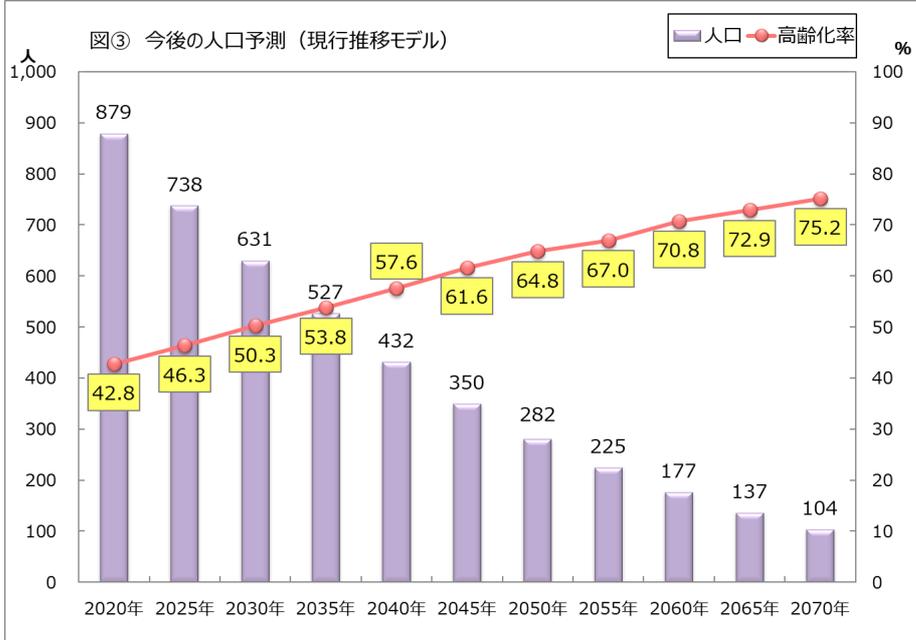
山部 地区(現状分析)



年齢構成



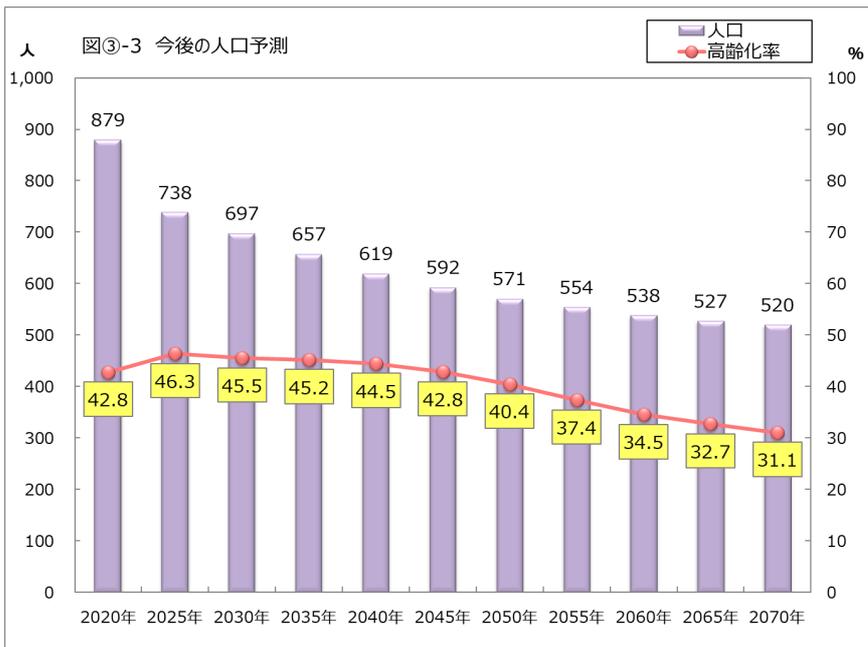
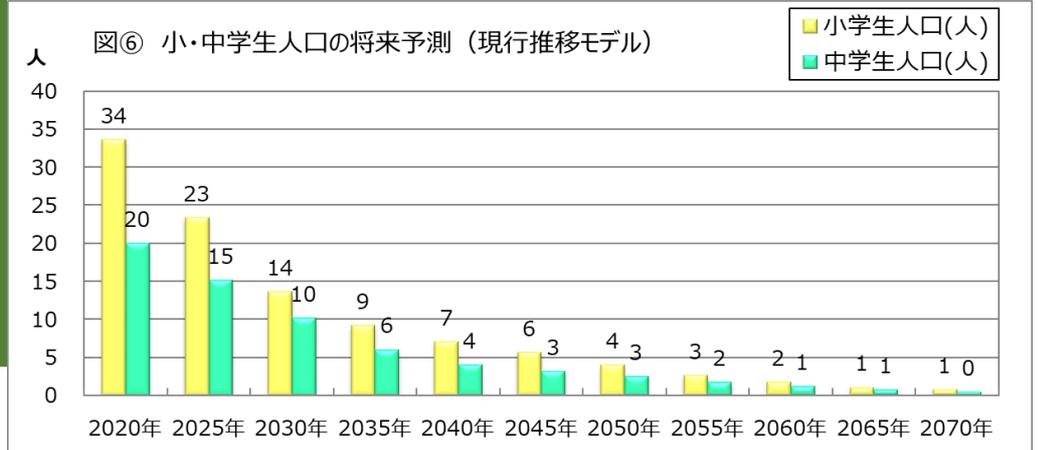
年齢別増減率



人口、高齢化率予測

# 山部 地区 (現状推移予測)

小中学生数予測



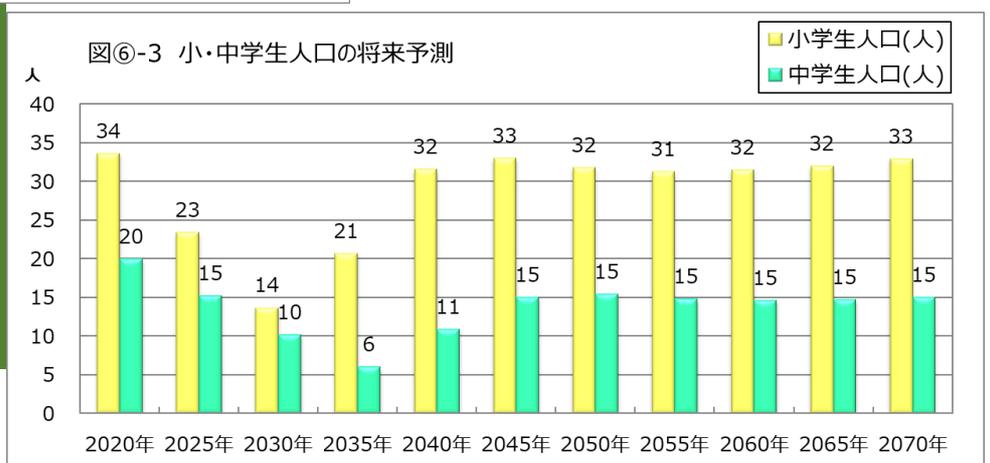
人口、高齢化率予測

# 山部 地区 (安定シナリオ例)

**取り組み内容**

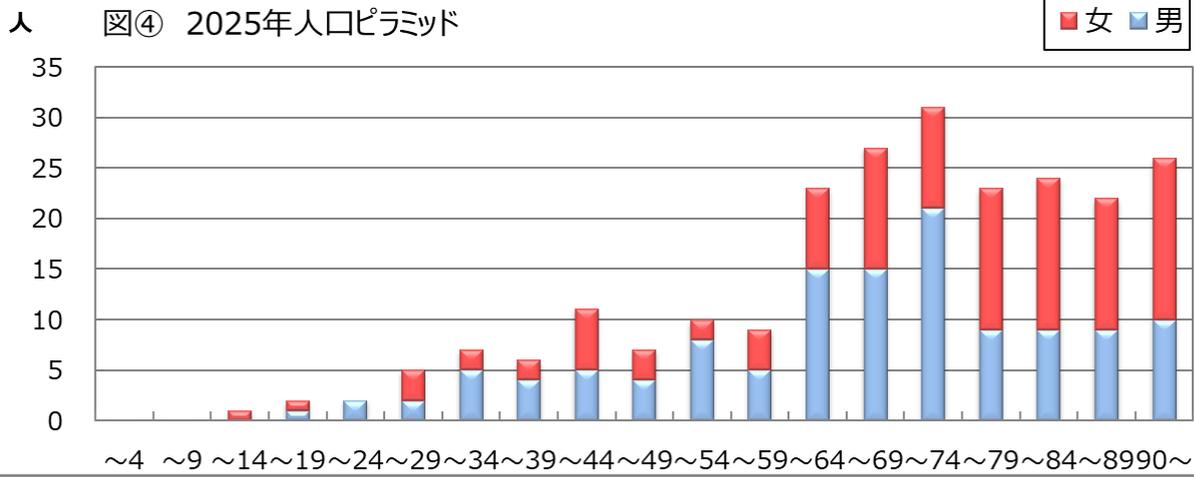
- ①出生率0.93→1.80
- ②定住増加(1年間)
- 20代前半男女 +1.5組
- 30代前半子連れ夫婦+ 1.5組
- 60代前半夫婦 + 1.5組
- 合計4.5組、10.5人、人口1.4%分

小中学生数予測



寺野 地区(現状分析)

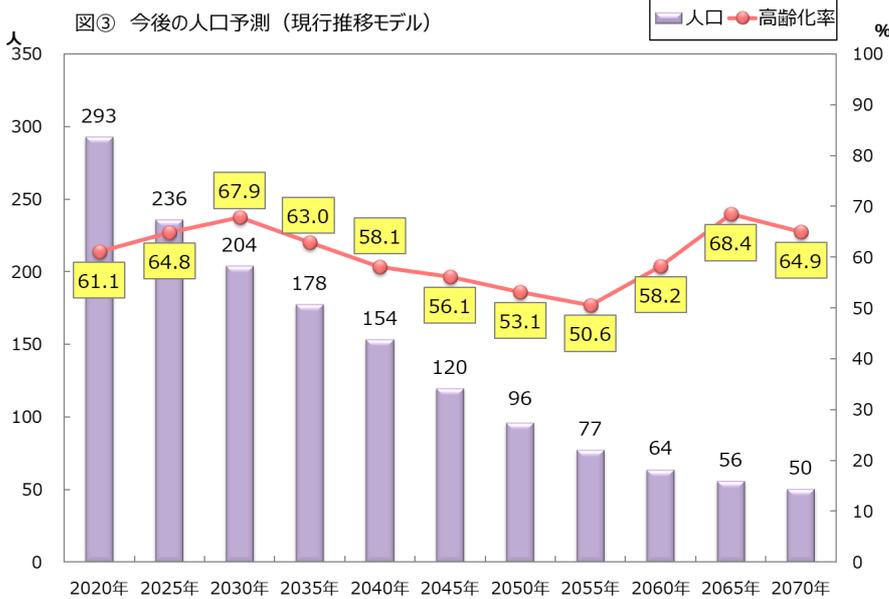
年齢構成



年齢別増減率

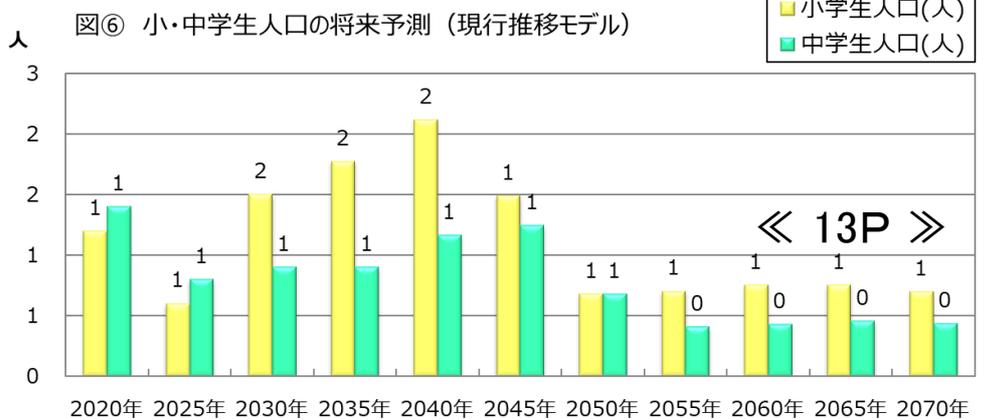


寺野 地区 (現状推移予測)

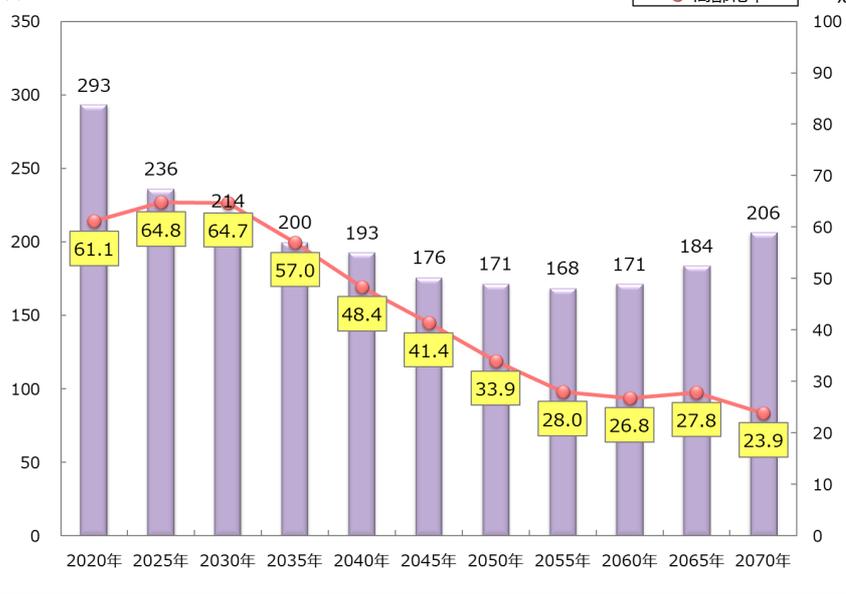


人口、高齢化率予測

小中学生数予測



図③-3 今後の人口予測



人口、高齢化率予測

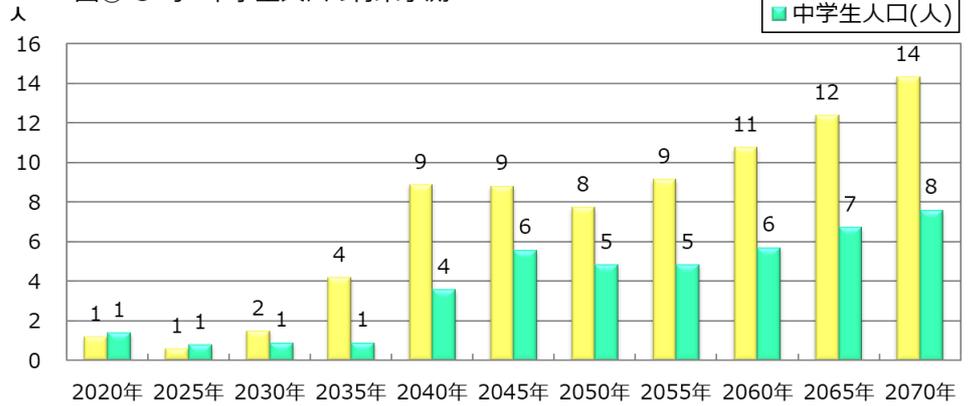
# 寺野 地区 (安定シナリオ例)

## 取り組み内容

- ①出生率0.73→1.80
- ②定住増加(1年間)  
20代前半男女 +0.2組  
30代前半子連れ夫婦+0.2組  
60代前半夫婦 +0.2組  
合計0.6組、1.4人、人口0.6%分

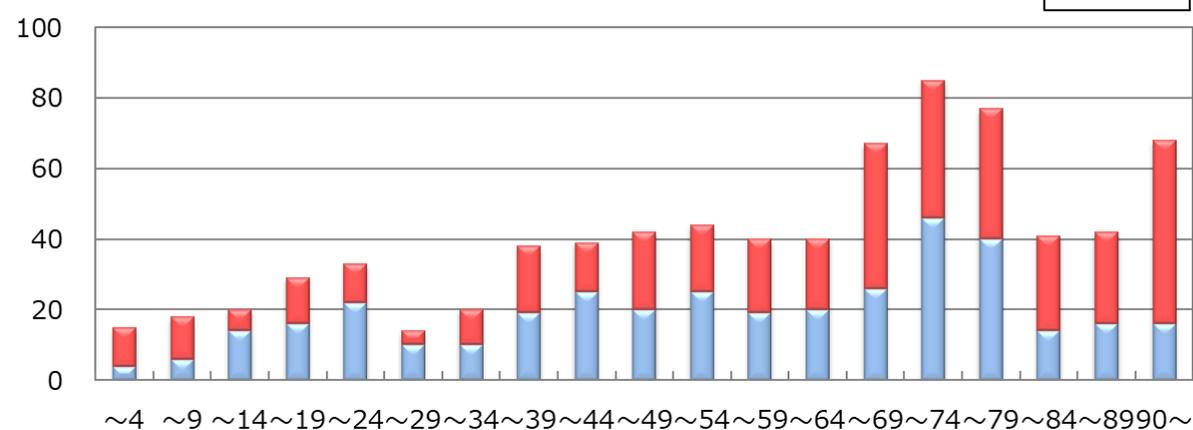
小中学生数予測

図⑥-3 小・中学生人口の将来予測



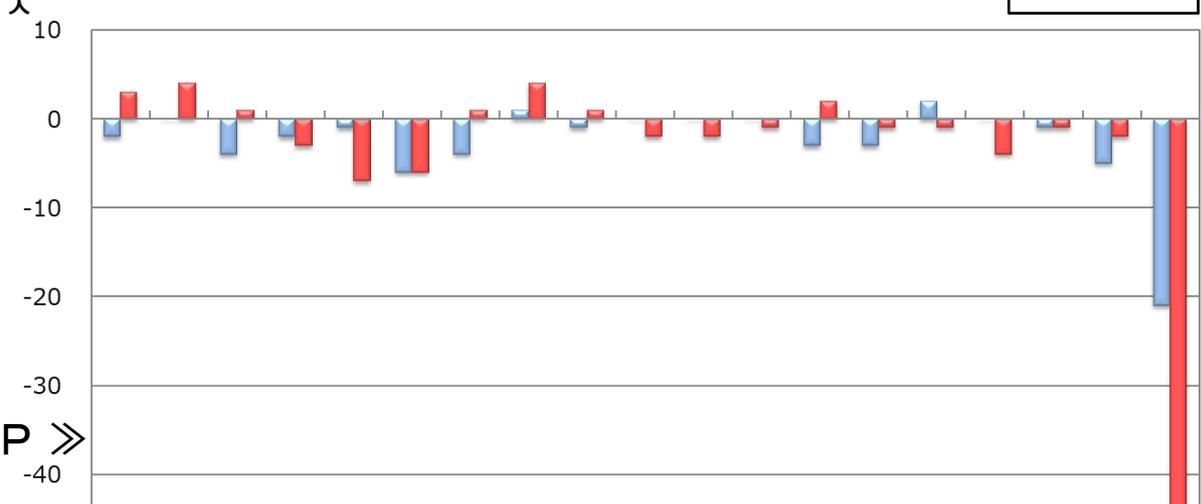
宮島 地区(現状分析)

図④ 2025年人口ピラミッド

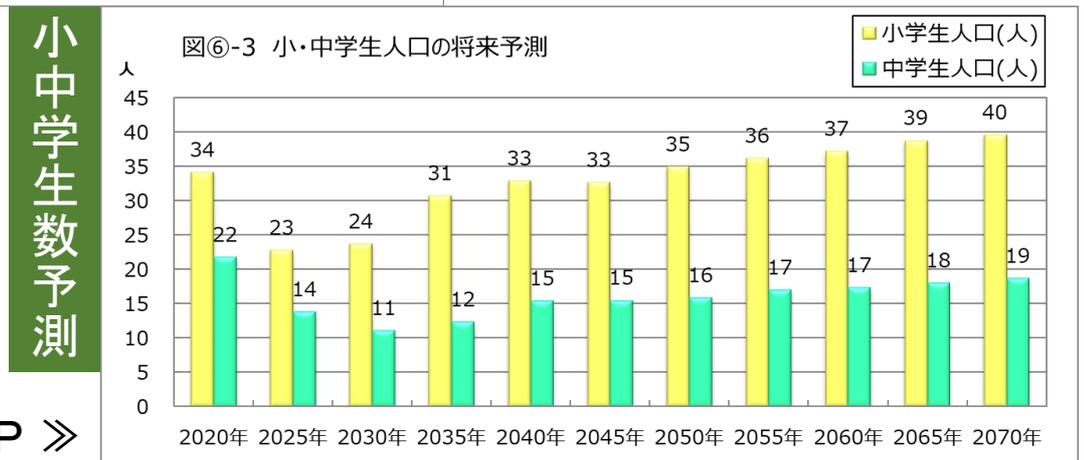
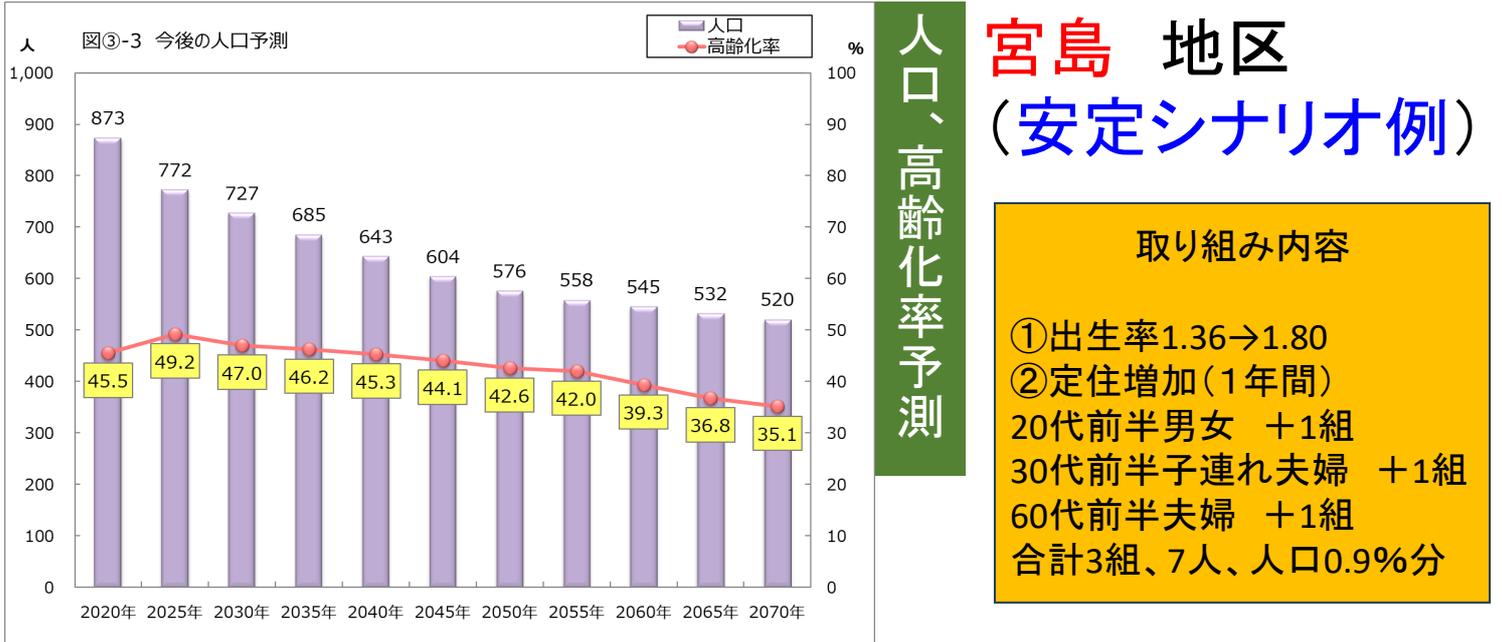
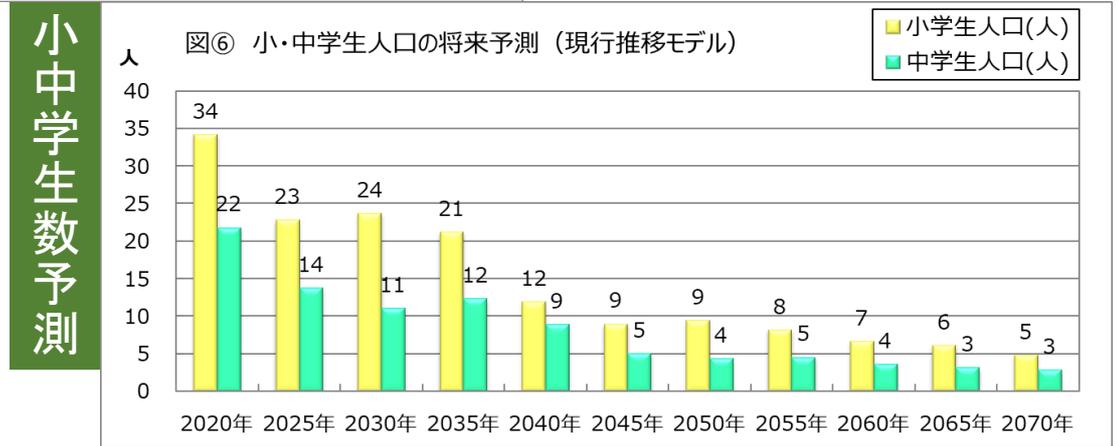
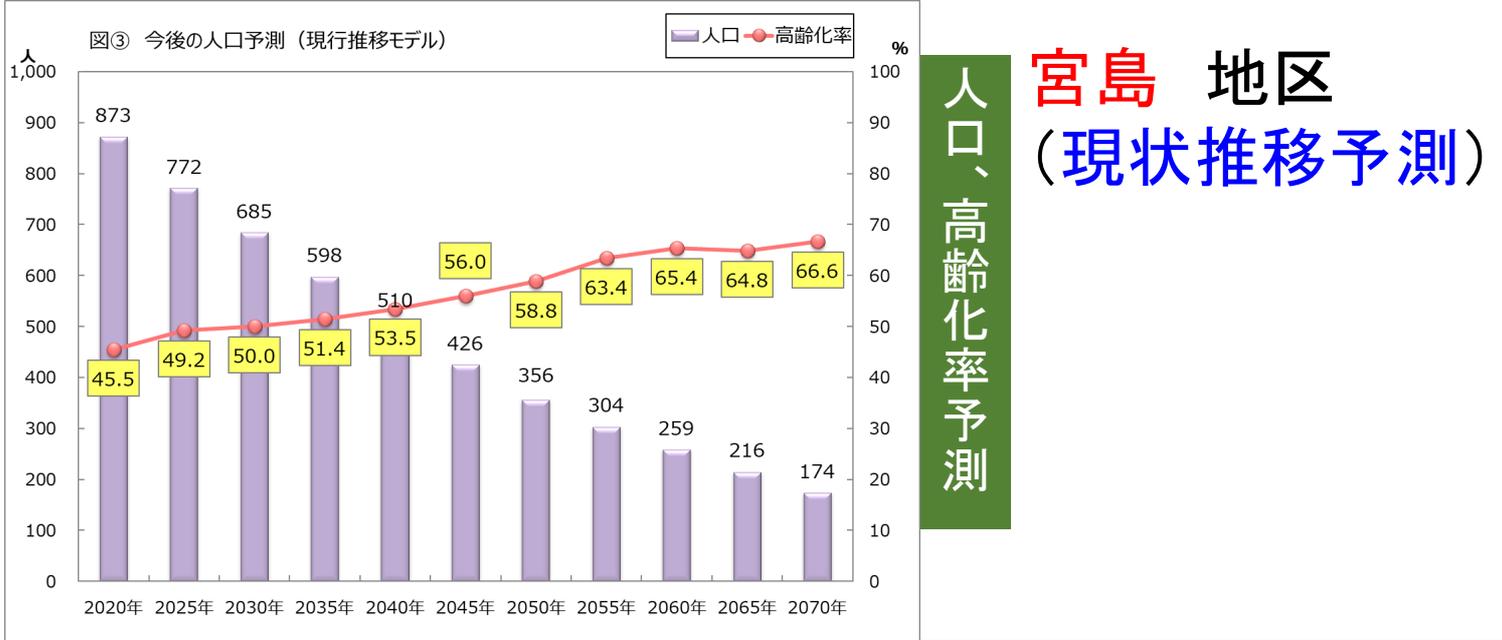


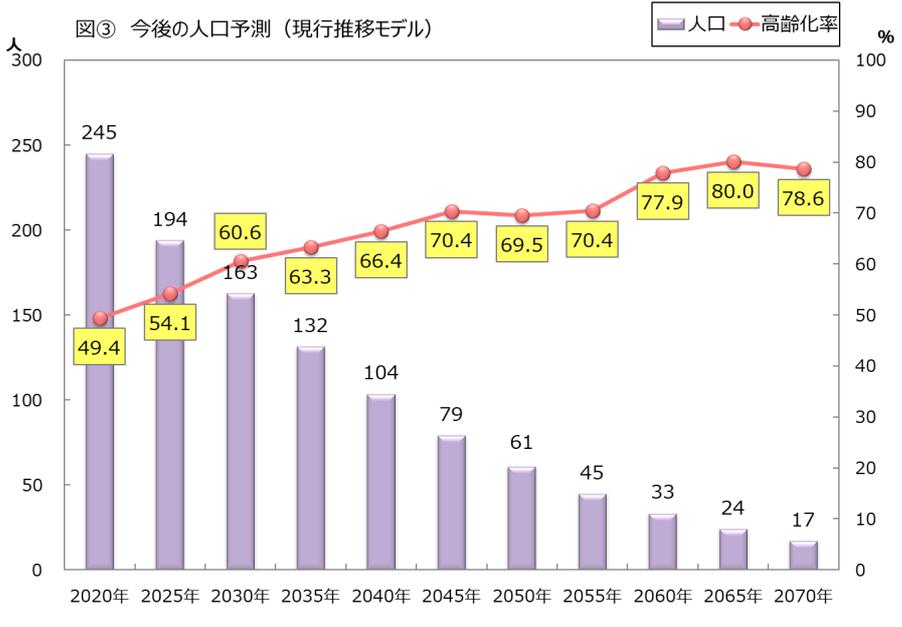
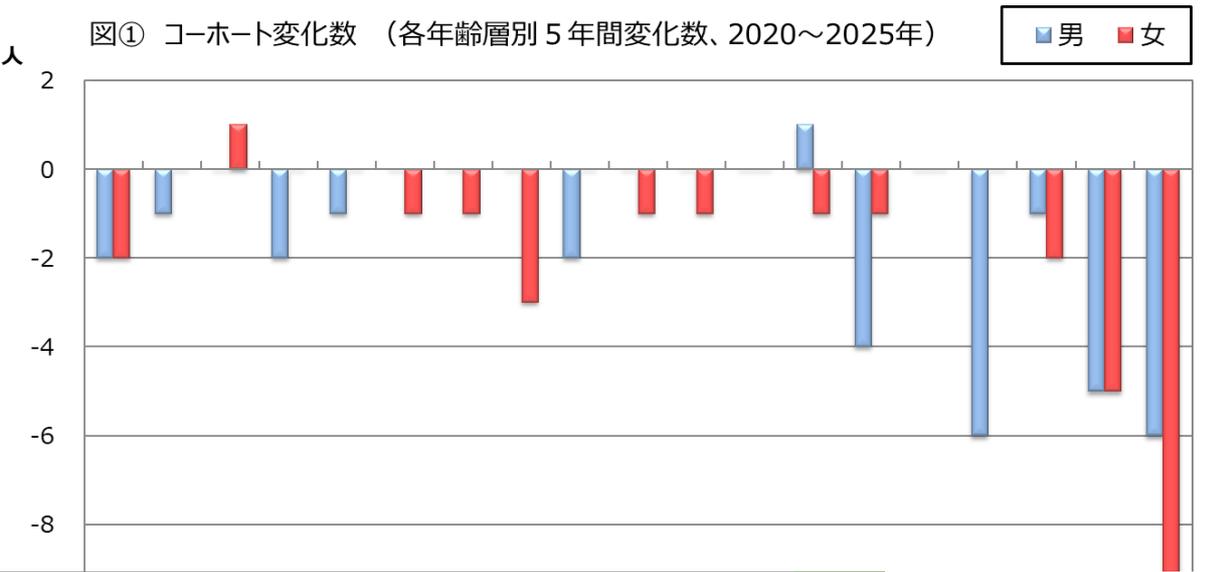
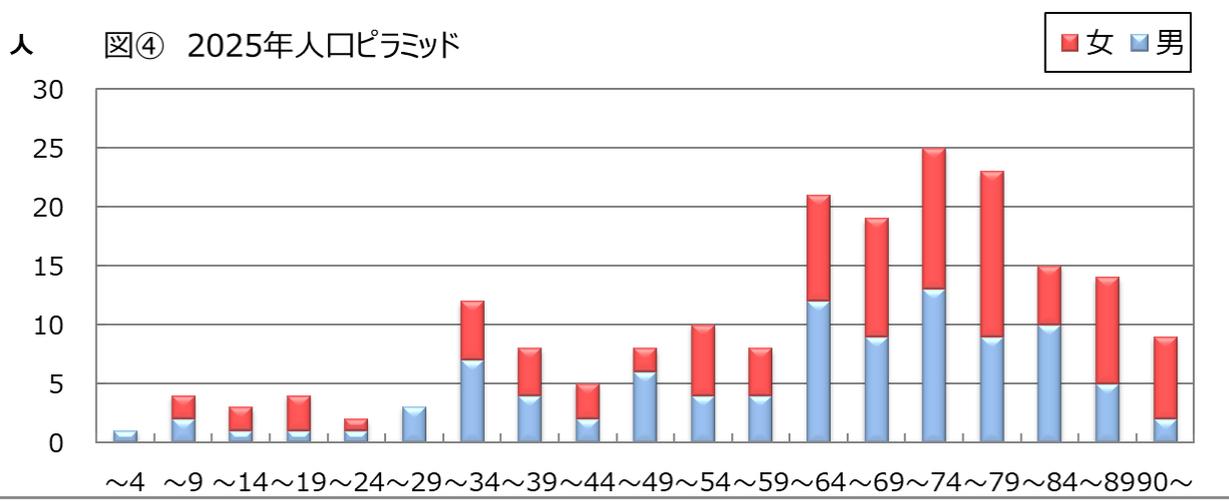
年齢構成

図① コーホート変化数 (各年齢層別 5年間変化数、2020~2025年)



年齢別増減率

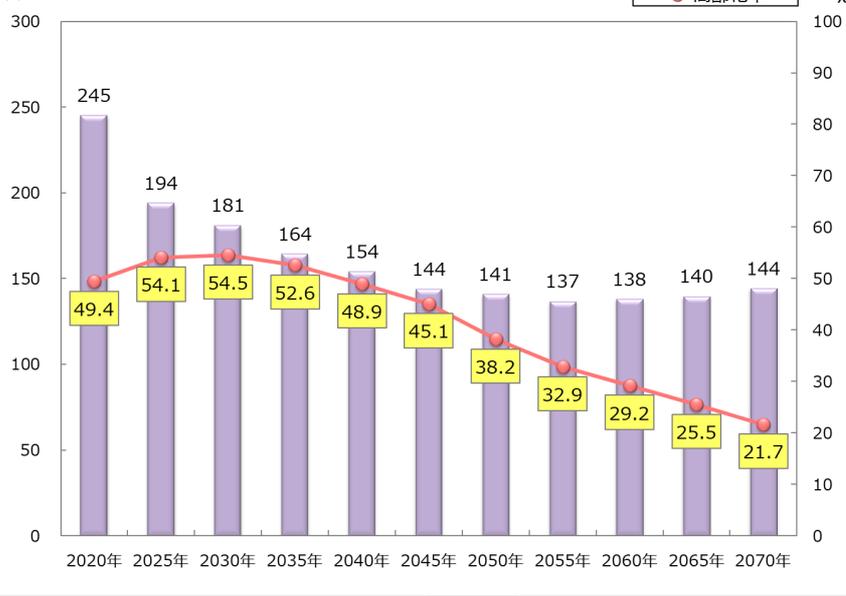




筒方地区 (現状推移予測)



図③-3 今後の人口予測



人口、高齢化率予測

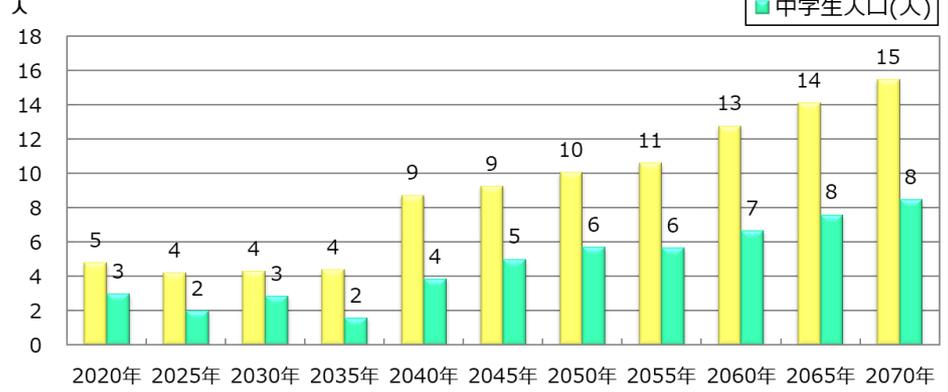
# 筒方 地区 (安定シナリオ例)

## 取り組み内容

- ①出生率0.40→1.80
- ②定住増加(1年間)  
20代前半男女 +0.4組  
30代前半子連れ夫婦+0.4組  
60代前半夫婦 +0.4組  
合計1.2組、2.8人、人口1.4%分

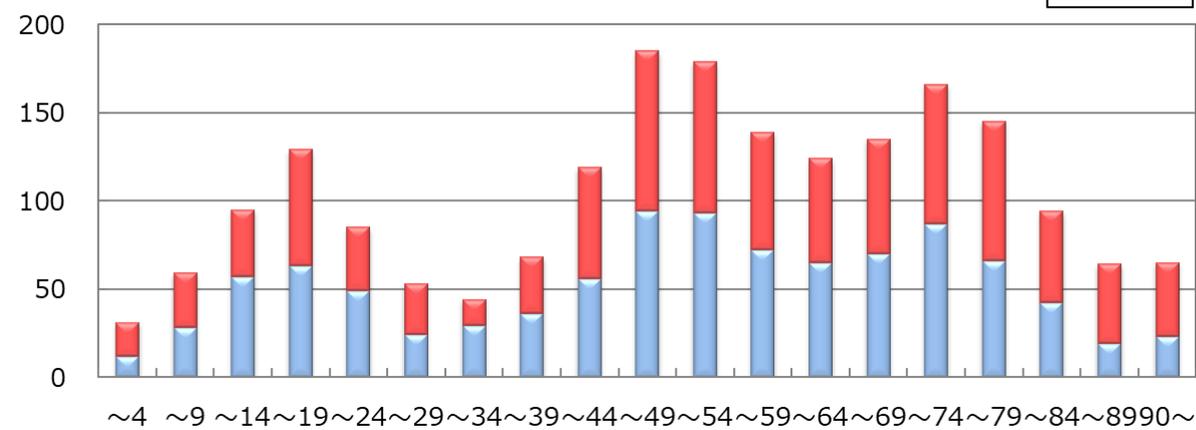
小中学生数予測

図⑥-3 小・中学生人口の将来予測



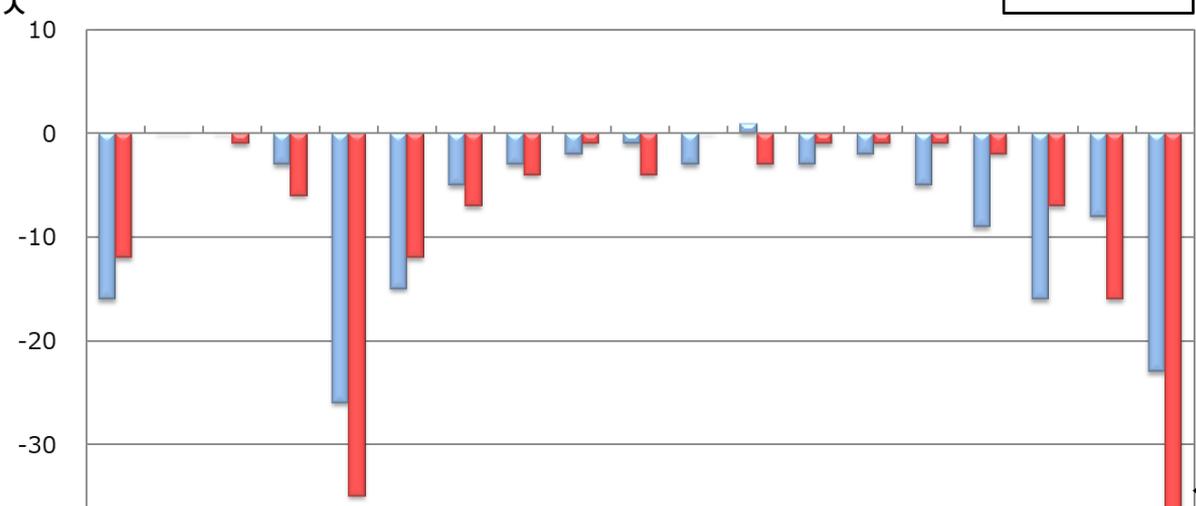
豊原 地区(現状分析)

図④ 2025年人口ピラミッド

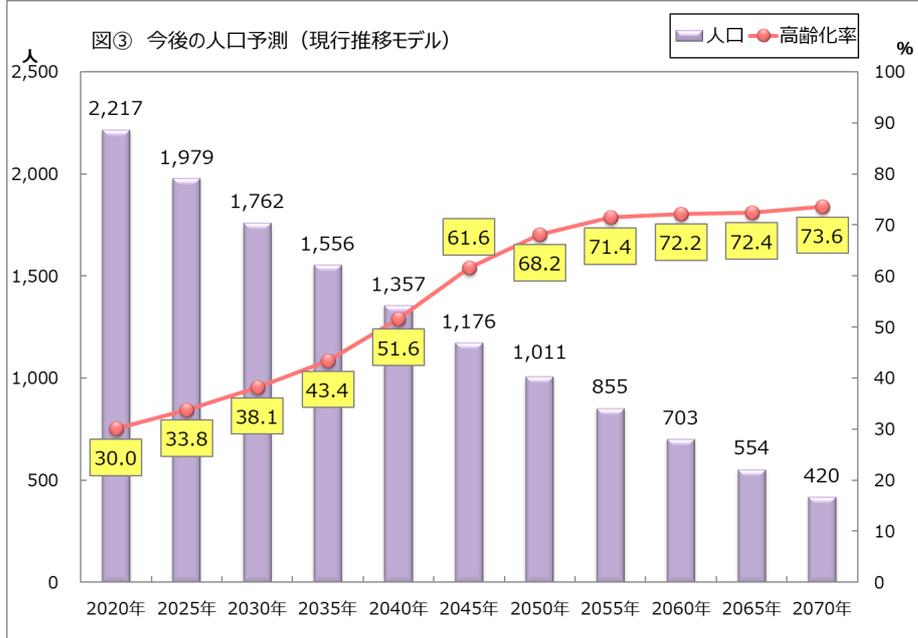


年齢構成

図① コーホート変化数 (各年齢層別5年間変化数、2020~2025年)



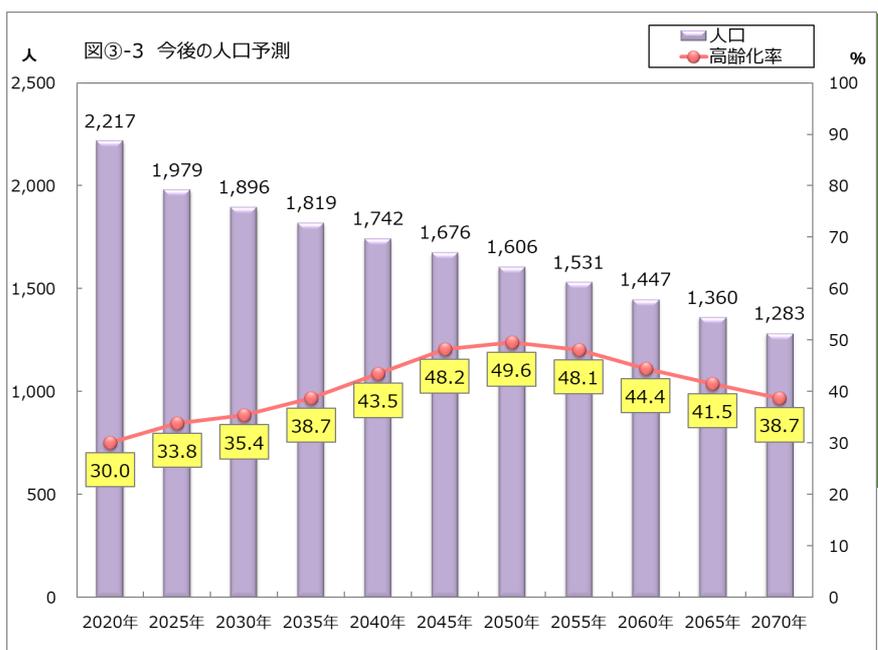
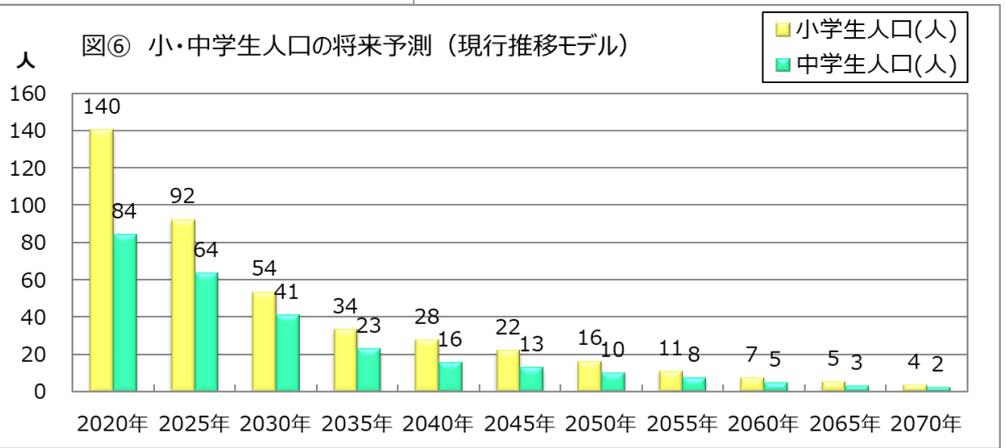
年齢別増減率



人口、高齢化率予測

# 豊原 地区 (現状推移予測)

小中学生数予測

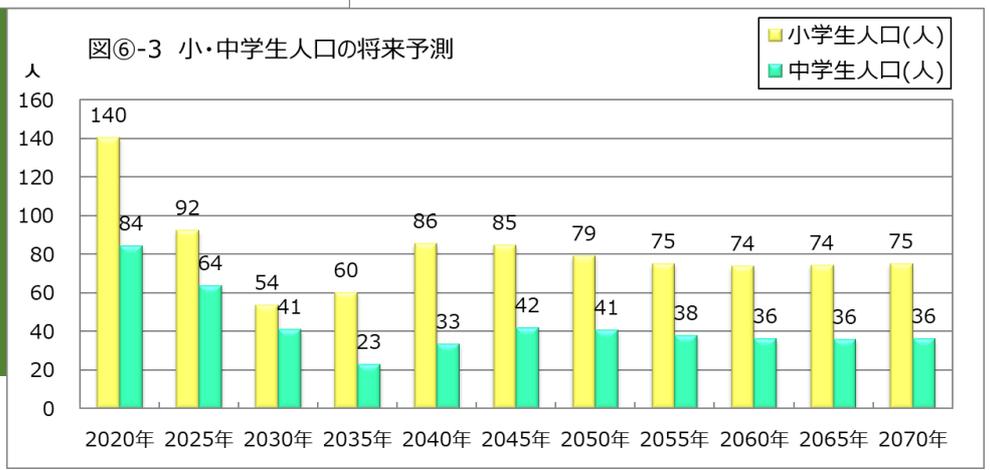


人口、高齢化率予測

# 豊原 地区 (安定シナリオ例)

- 取り組み内容
- ①出生率1.11→1.80
  - ②定住増加(1年間)  
20代前半男女 +3組  
30代前半子連れ夫婦 +3組  
60代前半夫婦 +3組  
合計9組、21人、人口1.1%分

小中学生数予測



# ■町内会アンケート結果(2025年度試行)

※グラフは各地区1つ、計6つのモデル町内会のデータです。

○針地区:大規模町内会がモデル回答

世帯200~299戸、人口500~999人レベル

○豊原地区:中規模町内会が回答

世帯50~99戸、人口200~299人レベル

○山部地区:中小規模町内会が回答

世帯20~29戸、人口50~99人レベル

○宮島地区:中小規模町内会が回答

世帯30~39戸、人口100~199人レベル

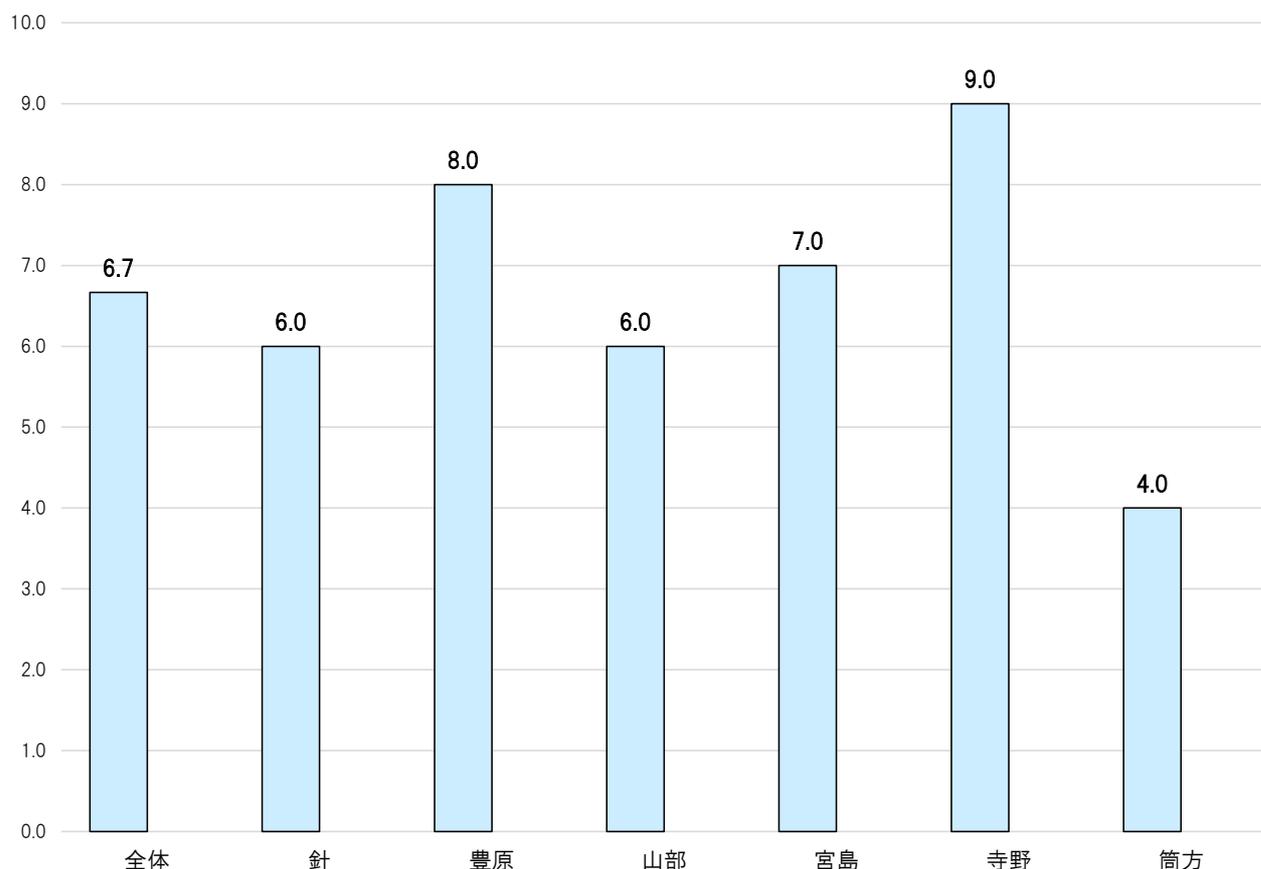
○寺野地区:小規模町内会が回答

世帯10~19戸、人口20~49人レベル

○筒方地区:小規模町内会が回答

世帯10~19戸、人口20~49人レベル

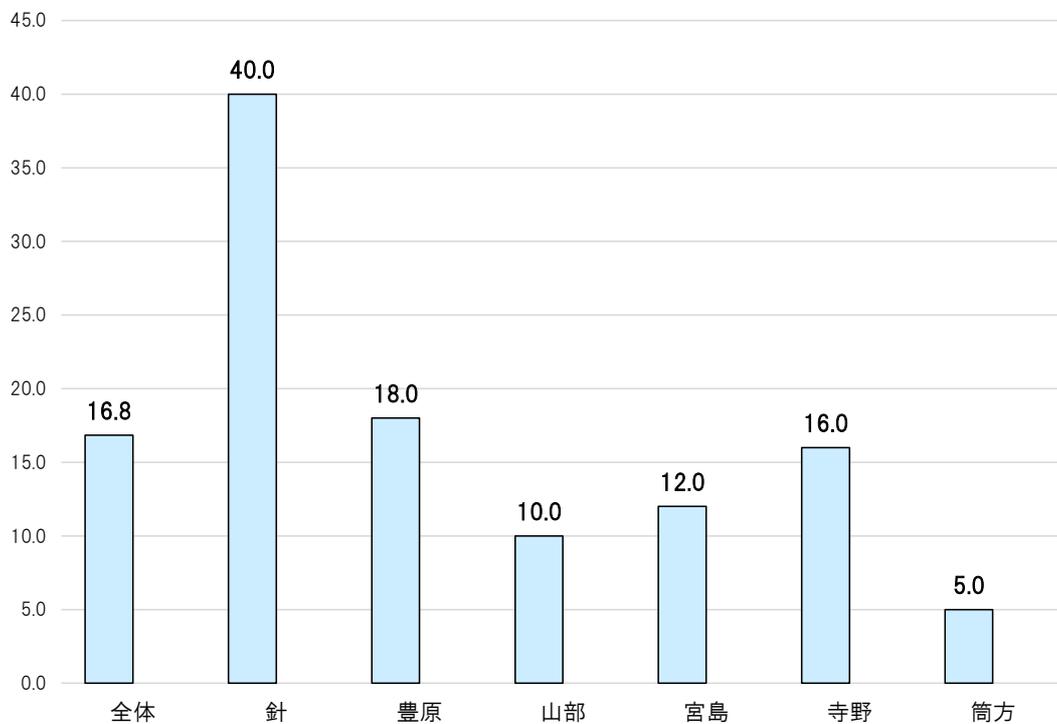
## ■6エリア別、1町内会の役職の数



《 19P 》

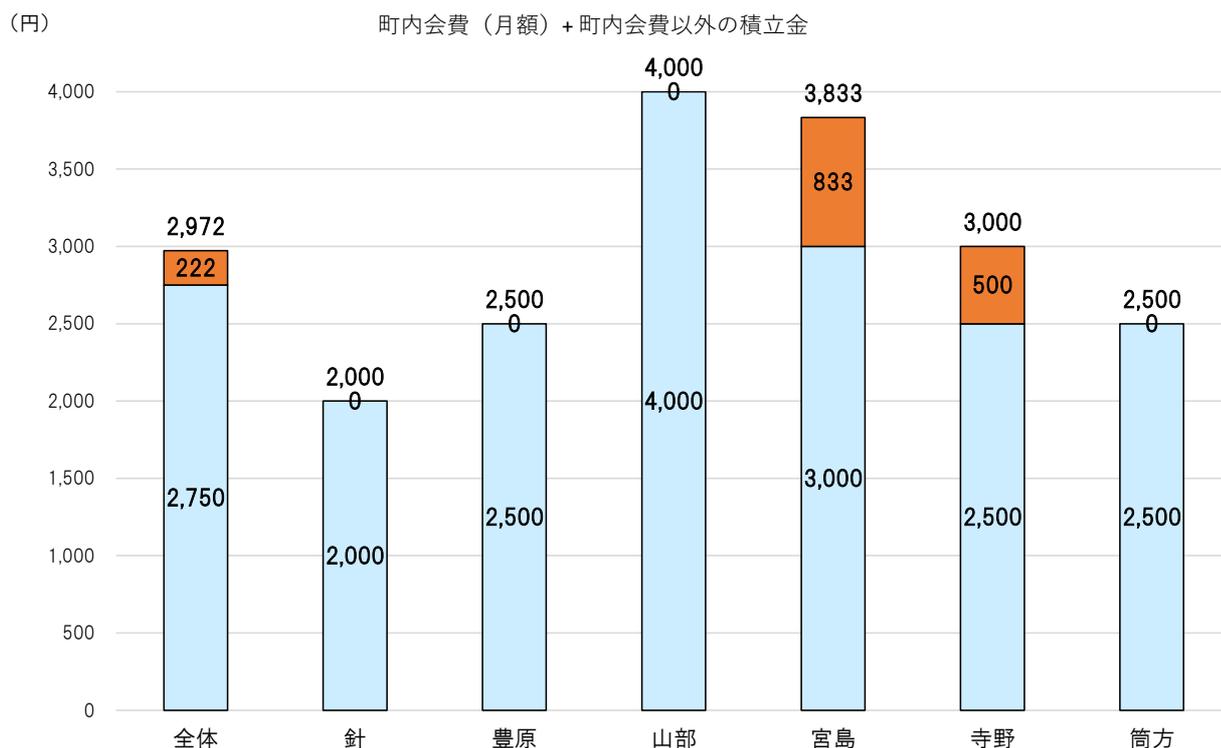
→町内会の規模に関わらず、一定数の役職が設定

## ■6エリア別、1町内会の役職人数合計



→大規模町内会では、役職人数は大きくなっていますが、中～小規模では、あまり規模に比例していません。

## ■6エリア別、町内会費状況

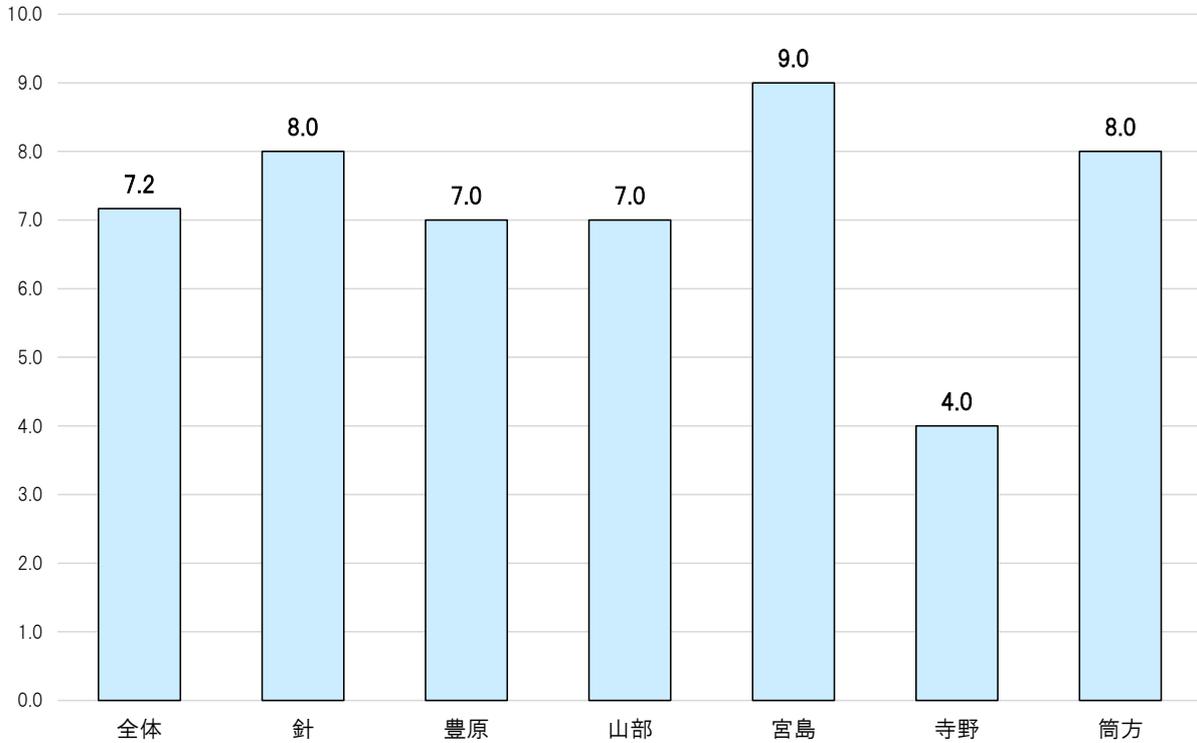


→これも、あまり規模に比例しておらず、2,000円～4,000円のレベルに収まっています。

# 6エリア別、1町内会の年間行事数

(件)

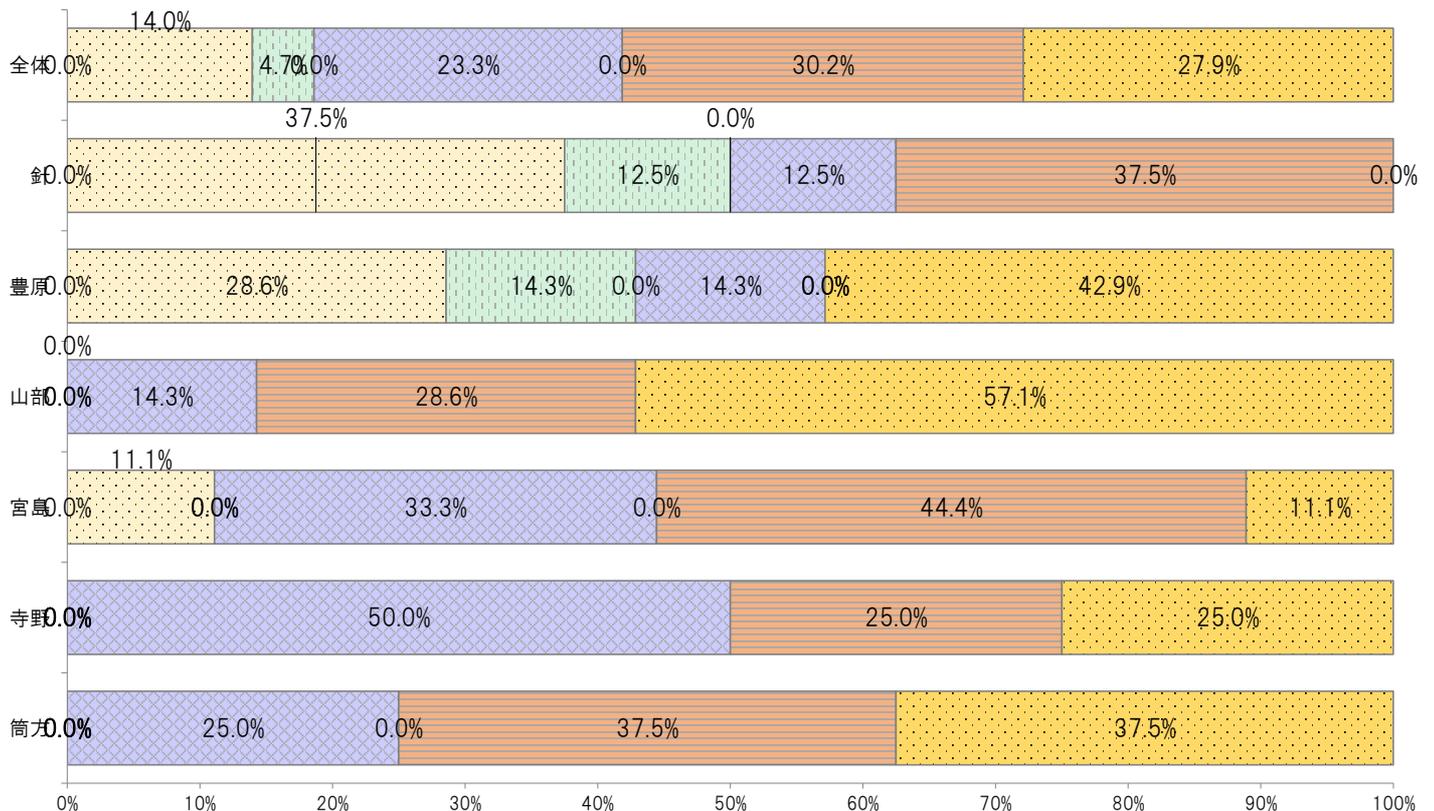
1町内会当たりの年間行事数



→これも、あまり規模に比例しておらず、4回～9回のレベルに収まっています。

## 町内会の年間行事や活動(分野別)

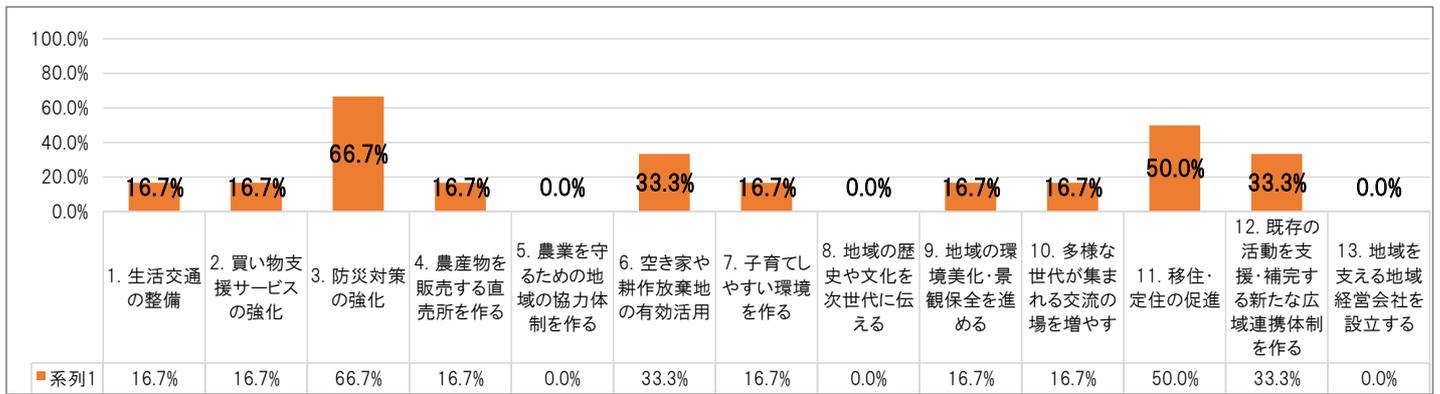
→「歴史文化(祭り)」、「環境美化」、「防災」が上位



- 1.福祉
- 2.防災
- 3.交通安全
- 4.子育て・教育
- 5.環境美化・保全
- 6.移住定住
- 7.歴史文化
- 8.その他・分類不明

※一部、複数分野に該当する行事があったため、実数の合計は、行事数と合わない

# ■より良い地域づくりに向けて今後必要と考えられる取組



→上位4つは

①防災対策の強化

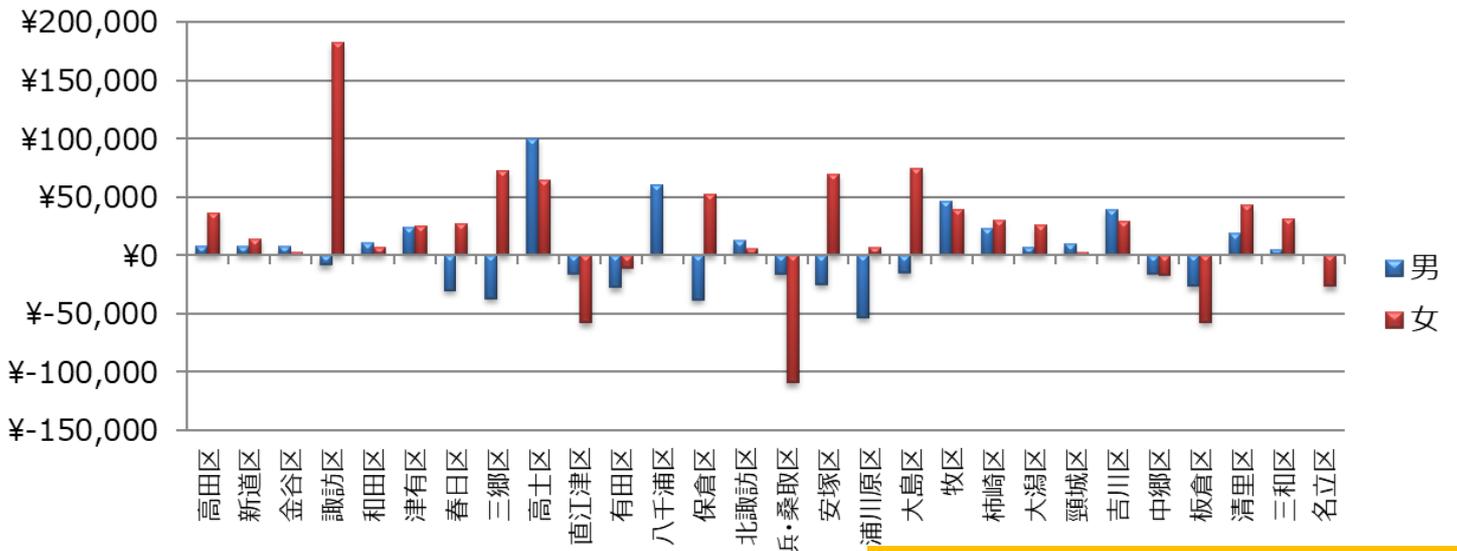
②移住・定住の促進

③空き家や耕作放棄地の有効活用

③既存の活動を支援・補完する新たな広域連携体制を作る

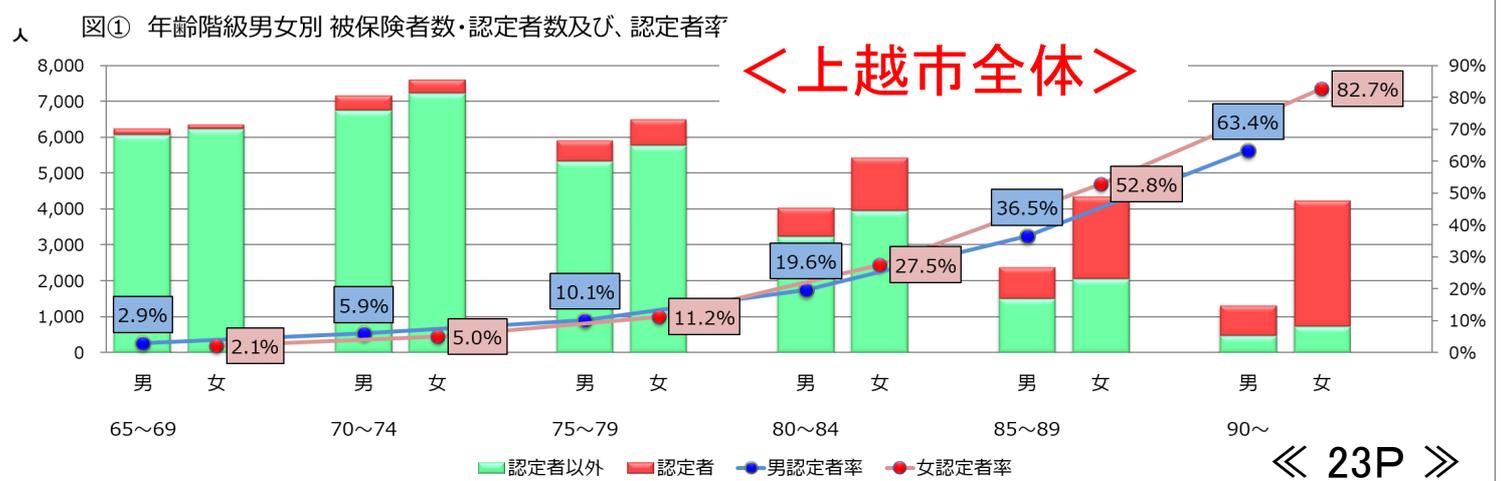
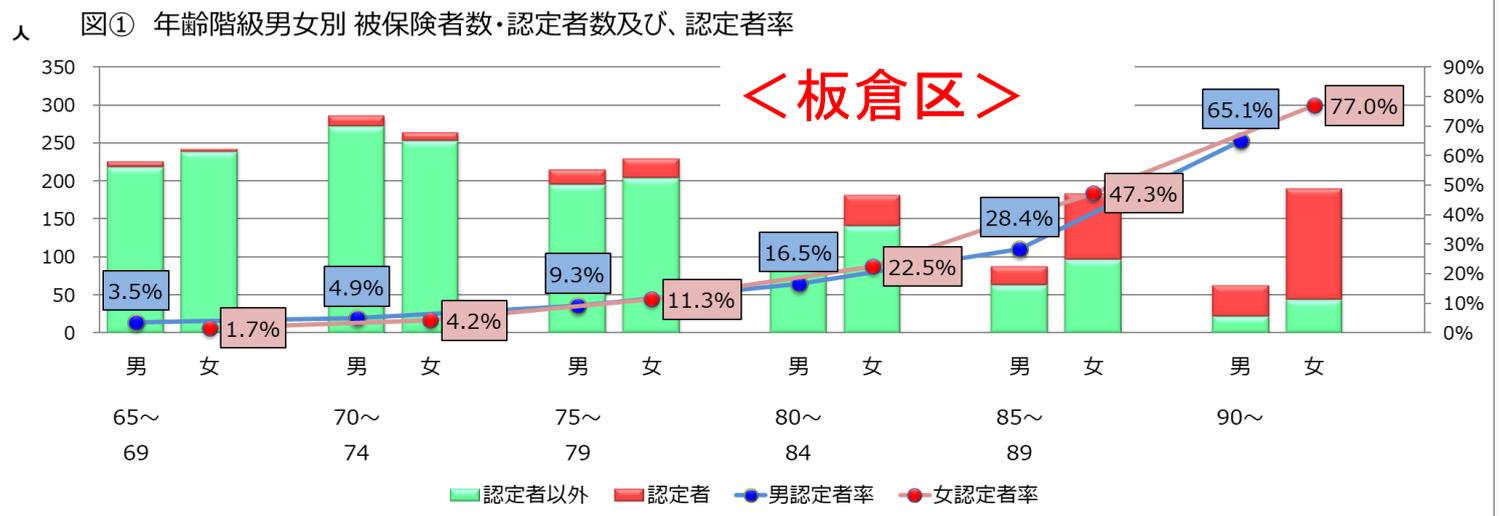
# 6. 板倉区のお達者度(男女総合)は上越市で銀メダル!

●地区別の「お達者度」～全国平均の年齢階層ごとの認定者率・介護度との違い～を反映した場合の介護費用の1人当たり差額(被保険者≒高齢者)

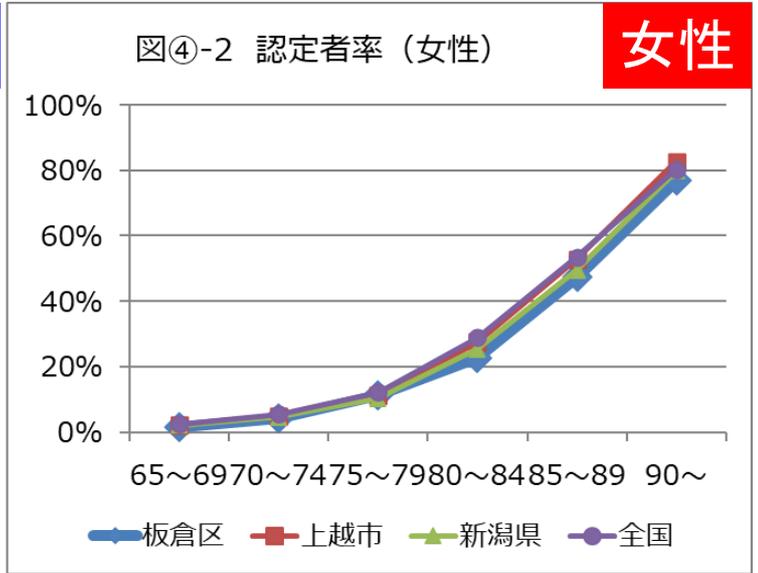
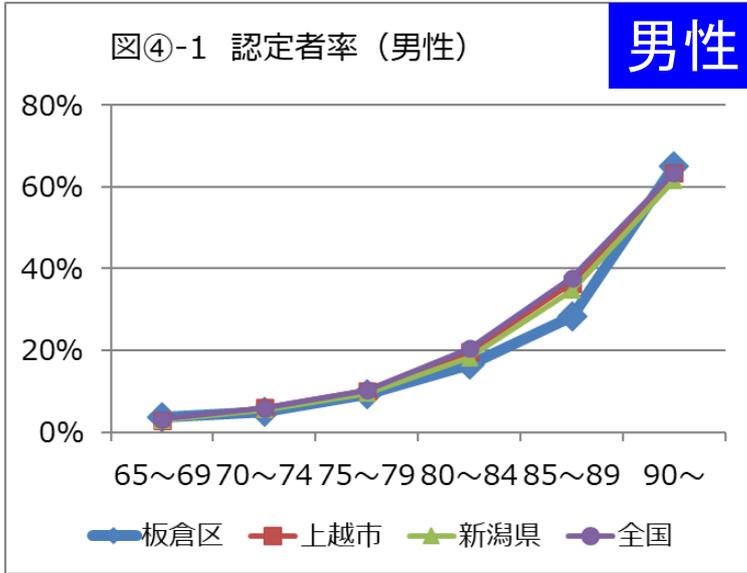


部門	1位	2位	3位	4位	5位	被保険者(≒高齢者)1人当たり
男性	浦川原区	保倉区	三郷区	春日区	有田区	男性 -26,784円 6位
女性	谷浜・桑取区	直江津区	板倉区	名立区	中郷区	女性 -57,559円 3位
総合	谷浜・桑取区	板倉区	直江津区	浦川原区	有田区	総合 -68,124円 2位

## ●年齢階級男女別 被保険者数・認定者数及び、認定者率

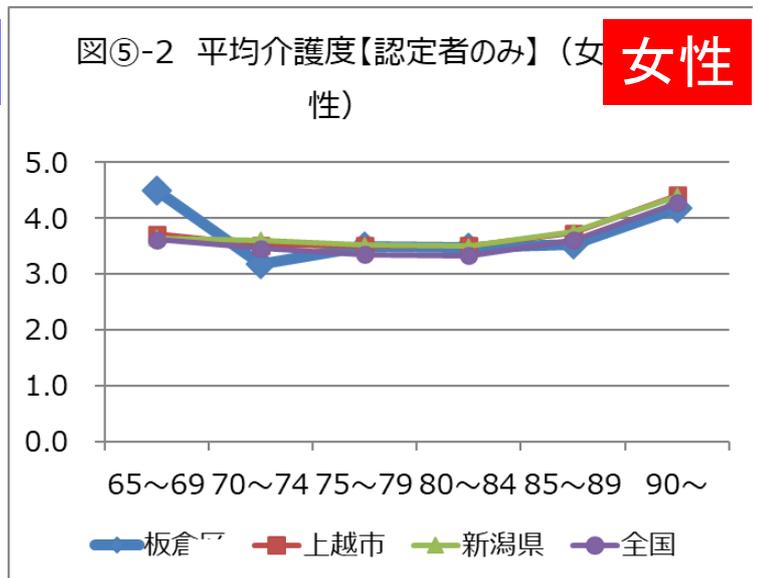
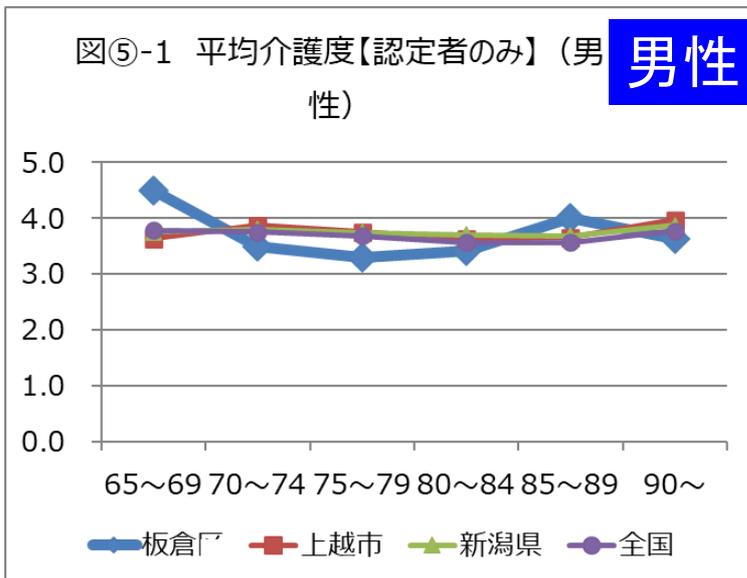


# ●板倉区 認定者率



男性は80代、女性は80代から90代以降にかけて、全国や市全体に比べて低さが目立つ

## 板倉区 平均介護度（認定者のみ）



認定者1人当たりの平均介護度は、男性の70代前半から80代前半および90代以降、女性の70代前半と80代後半から90代以降で、低くなっている。

板倉区 子育て・教育	福祉	コミュニティ・その他	農林（漁）	商工・観光	防災・交通
県立有恒高校 県立上越特別支援学校 有恒学舎				より広域を活動範囲とする団体市全体や市外 上越南商工会 <small>板倉、三和、清里、牧、中郷</small>	
民 集 協 板倉区総合事務所 ・ 板倉区地域協議会					
板倉コミュニティプラザ NPO 板倉まちづくり振興会（総務・公益事業部、市民生活・福祉事業部、産業・観光事業部、まちづくり創成事業部）					
板倉中学校 PTA 各小中学校運営協議会 いたくら保育園 子育てひろば 放課後児童クラブ 板倉青少年育成会 板倉子ども育成会 <small>連絡協議会（7）</small> 板倉スポーツクラブ <small>（3）</small> 板倉農業者トレーニング <small>センター</small> 板倉北部スポーツセ <small>ンター</small> 板倉地区公民館 板倉クライミングセ <small>ンター（旧山部小）</small>	市社会福祉協議会 板倉支所 上越あたご地域包括支援セ <small>ンター板倉（サテライト）</small> 特養 いたくら桜園 居宅介護支援事業所 <small>いたくら桜園</small> 板倉居宅介護支援事業所 みやじまの里 清心荘 板倉ふれあい工房 板倉生活支援ハウス 板倉地区食生活改善 <small>推進委員会</small> 板倉地区運動普及 <small>推進協議会</small>	板倉区町内会長連絡協議会 板倉区生活環境協議会 板倉ふれあいまつり実行委員会	JAえちご上越 板倉支店 JAえちご上越 <small>板倉青年部・女性部</small> 板倉区認定農業者会 板倉区農業振興会 板倉区中山間地域農業振興会 (有)穂海農耕 田中産業(株) (株)LightField	郵便局（2） 第四北越銀行板倉支店 新井信用金庫板倉支店 針商店街 ニーナ 小林堂 小政 きらく 春紀 しみず屋 そば処 いたくら亭 糸しんの里やすらぎ荘 糸しんの里記念館 光ヶ原高原 光ヶ原高原 <small>ファン倶楽部</small>	板倉交番 市消防団 <small>板倉方面隊</small> 市交通安全協会 <small>板倉支部</small> 市防災士会 <small>板倉支部</small> 板倉区防犯協会 板倉区予約型 <small>コミュニティバス</small> 
板倉小学校 PTA 豊原小学校 PTA 旧宮島小 旧山部小 旧寺野小 旧筒方小 子ども会		針地区連絡 <small>協議会 9町内会</small> 豊原地区連絡 <small>協議会 9町内会</small> 宮島地区連絡 <small>協議会 9町内会</small> 山部地区連絡 <small>協議会 7町内会</small> 筒方地区連絡 <small>協議会 6町内会</small> 寺野地区連絡 <small>協議会 7町内会</small> 町内会（50） 老人クラブ（9） 各活動団体（サークル含む）	そば生産組合（山越、米増） どうがたの郷特産物生産組合 そば生産組合 <small>（柄山、大野栗沢、筒方、達野）</small> 活動組織（21） <small>（多面的交付金）</small> 集落協定（2） <small>（中山間地域等直払）</small> 集落営農型農業法人（7） 農家組合 用水組合 農業生産組合 機械利用組合	いなかの味まんま 米ッココ 地域の中心となるコミュニティ <small>（小学校区・平場）</small> 寺野いろりばた 地すべり資料館 山寺薬師 地域の中心となる <small>コミュニティ （小学校区・山間地）</small>	板倉方面隊 <small>分団（2）</small> 消防部（10） 自主防災組織
いさなコミュニティと <small>り範囲を活動範囲とする団体</small>					

25P

板倉区全体の人口予測と安定化シナリオ

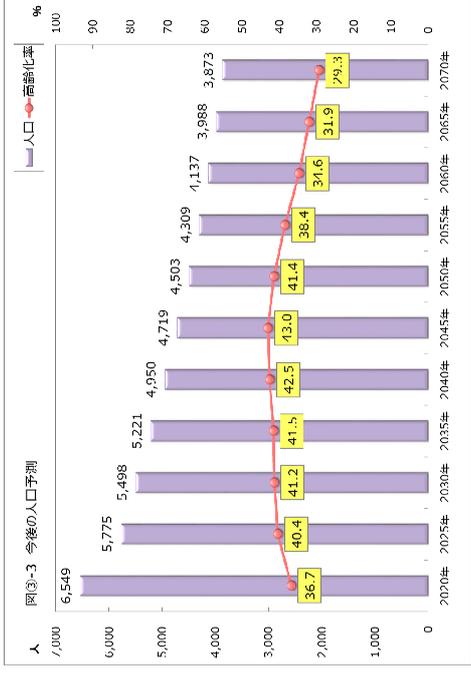
① 将来予測 < 現状推移シナリオ >



放置すると、急激な人口減少と高齢化が進行

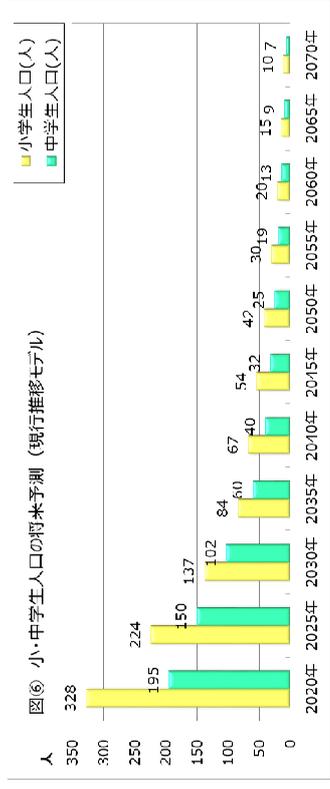
② 人口が安定する組み合わせのシナリオ

○ 定住増加目標: 現在人口(5,775人)の0.9%を目標

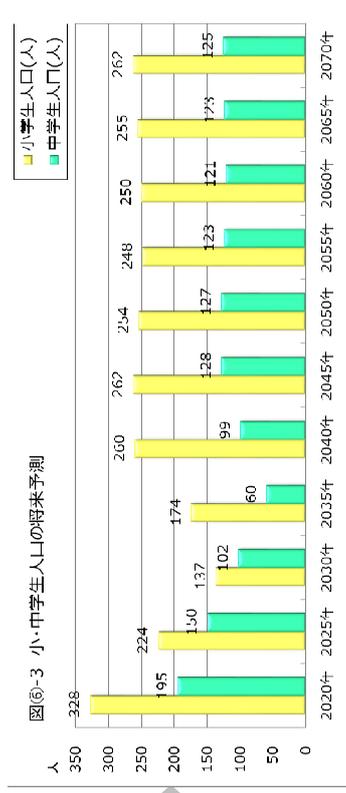


20代前半男女1組(2名) 10組  
 30代子連れ夫婦1組(3名) 10組  
 60代定年帰郷夫婦1組(2名) 2組

毎年 合計22組  
 54人



何もしないと、小・中学生数は、10年間で半減もあり得る。



人口は減少するものの緩やかな減少にとどまるとともに  
 小中学生の人口は一定数を維持できる。

板倉区・平場（針・豊原・宮島・山部）の人口予測と安定化シナリオ

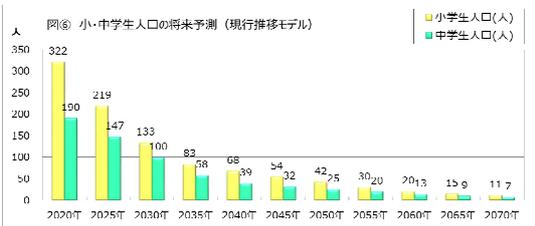
② 人口が安定する組み合わせのシナリオ

○定住増加目標：現在人口(5,345人)の0.9%を目標

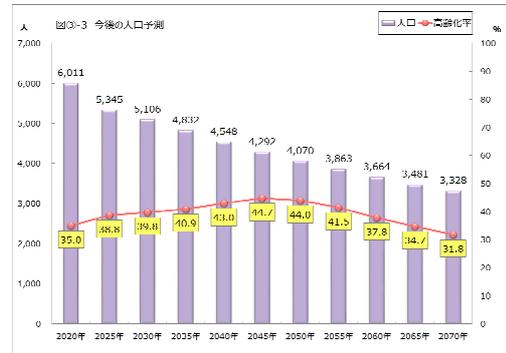
① 将来予測<現状推移シナリオ>



放置すると、急激な人口減少と高齢化が進行



何もしないと、小・中学生数は、10年間で半減もあり得る。



20代前半男女1組(2名) 9組  
30代子連れ夫婦1組(3名) 9組  
60代定年帰郷夫婦1組(2名) 2組  
毎年合計20組 49人



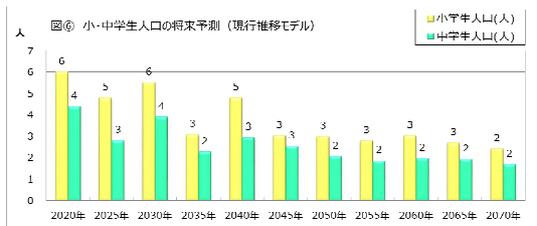
人口は減少するものの緩やかな減少にとどまるとともに、小中学生の人口は一定数を維持できる。

板倉区・山間地（寺野・筒方）の人口予測と安定化シナリオ

① 将来予測<現状推移シナリオ>



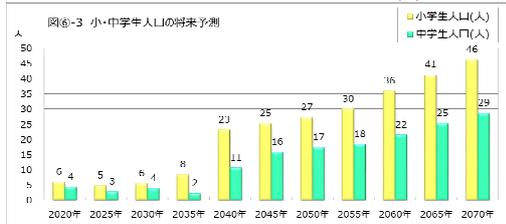
放置すると、急激な人口減少に。高齢化率は一定程度で高止まり



何もしないと、小・中学生数は、約4割減に。



20代前半男女1組(2名) 1組  
30代子連れ夫婦1組(3名) 1組  
60代定年帰郷夫婦1組(2名) 0組  
毎年合計2組 5人



人口は緩やかな減少にとどまる。小中学生の人口は増加に転じる。 << 27P >>

令和7年度 地区まちワークショップ参加者一覧（メンバーは五十音順・敬称略）

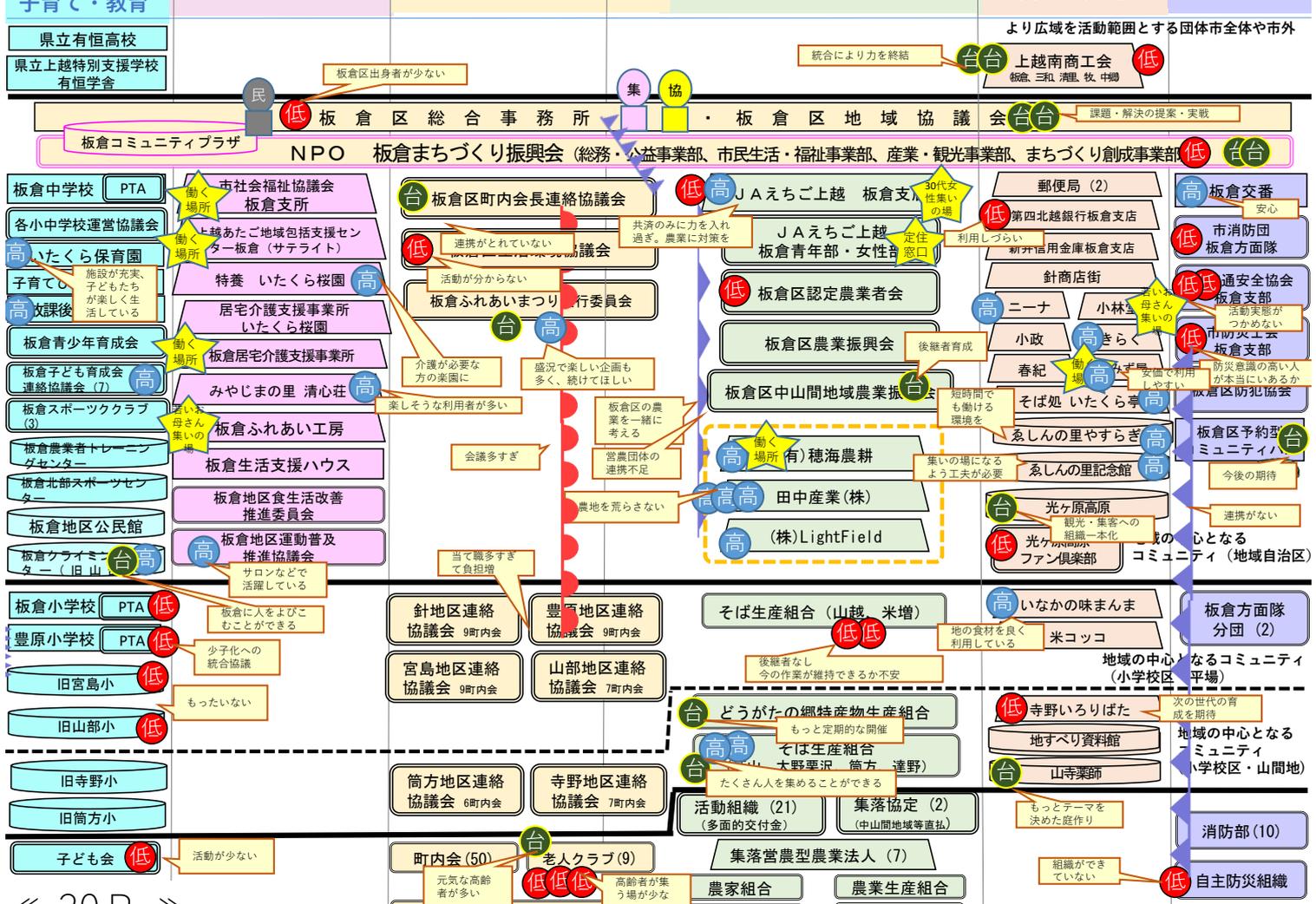
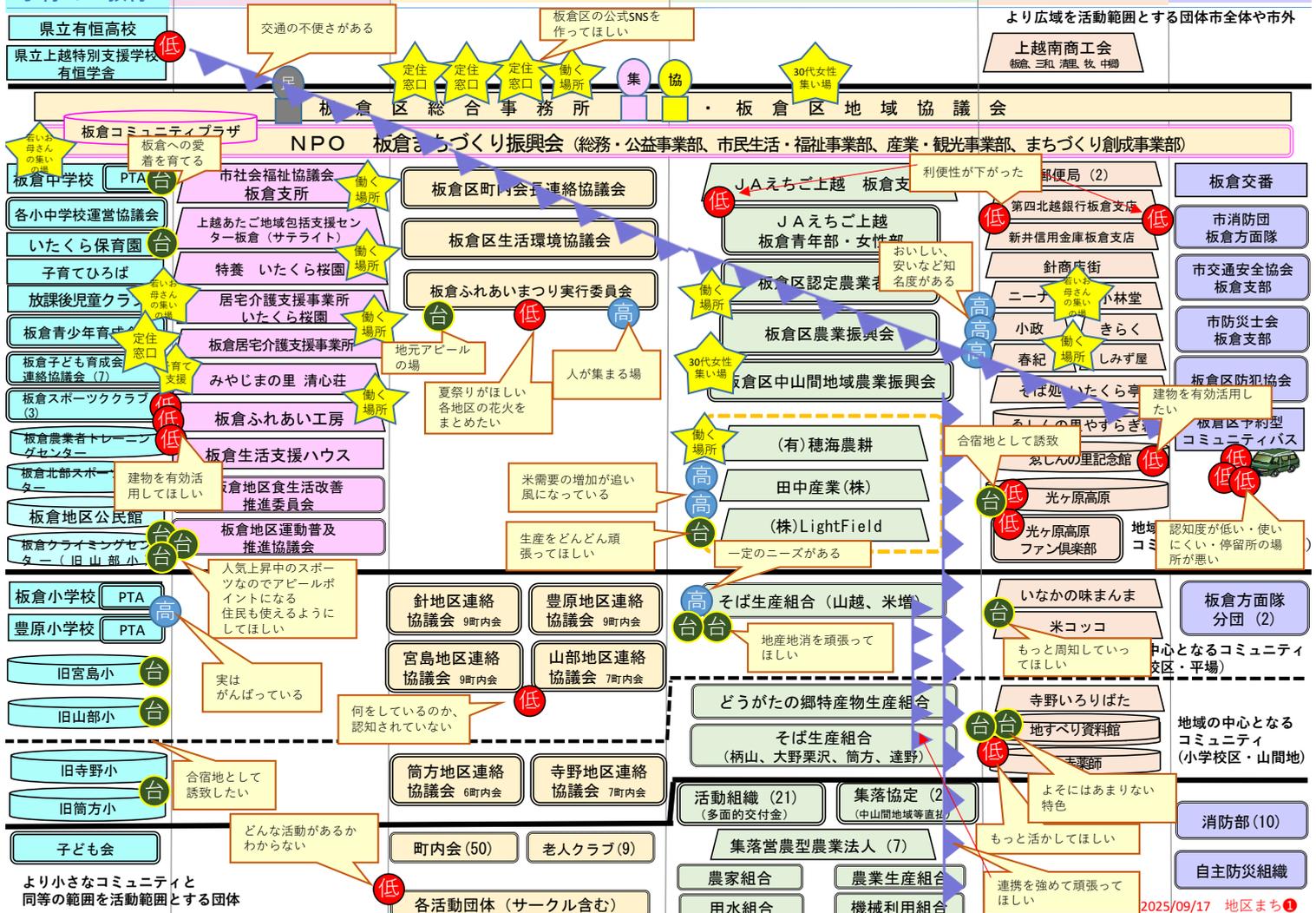
板倉区		◆ヤングチーム	◆ベテランチーム
平場Ⅰ	検討メンバー	伊藤 真由美	植木 節子
		閨間 邦明	小林 昌子
		大口 美奈子	小林 政弘
		重野 篤史	深石 敦子
		古川 義啓	清水 淳一
			山本 孝一
	サポート役 (総合事務所職員)	宮下 稜	千葉 正枝
平場Ⅱ	検討メンバー	新井 郁子	市村 典章
		飯川 久美	塩嶋 伸二
		小暮 綱光	澁谷 房子
		百瀬 桂子	中澤 健一
			南 直樹
	サポート役 (総合事務所職員)	流石 瑛紀	下鳥 颯大
山間地Ⅰ	検討メンバー	飯塚 直人	新井 武司
		渋谷 渉	笹川 春夫
		渋谷 百合子	清水 功
		関原 正礎	藤原 順昭
		福井 拓也	古澤 公男
		福山 諭青	細井 剛
		安原 たえ子	
	サポート役 (総合事務所職員)	山嵜 祐樹	宮澤 大地

■事務局 上越市創造行政研究所 柳澤 直也、丸山 一樹、渡来 美香

■統括アドバイザー 上越市創造行政研究所長 藤山 浩

# 令和7年度 板倉区ワークショップ プログラム

日時	内容
<b>キックオフフォーラム</b> 8月19日(火) 午後6時30分から [会場] 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	<b>持続可能なまちづくりに向けた取組について</b> <b>■藤山所長講演</b> ・人口安定化シナリオ、地元関係図の確認 ・町内会ヒアリング結果の共有、事例紹介
<b>住民ワークショップ</b> <b>【第1回】</b> 9月17日(水) 午後6時30分から [会場] 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	<b>地域の現状を把握する</b> <b>■地元天気図作成 ①現状課題編</b> 定住推進に向けて、地区の強み、弱み、 連携不足などの現状を「天気図」にまとめる 
<b>住民ワークショップ</b> <b>【第2回】</b> 10月6日(月) 午後6時30分から [会場] 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	<b>地域の目指す将来像を考える</b> <b>■地元天気図作成 ②課題解決編</b> 課題を解決する地域ぐるみのつなぎ直しを 具体的に「天気図」上に表現する <b>■具体的に取り組む3本柱、分野別項目の検討</b> 
<b>レゴワークショップ</b> 10月23日(木) 午後1時40分から [会場] 板倉中学校 ランチルーム	<b>地域の未来を「形」にしてみる</b> <b>■レゴブロックを活用した子どもたちによる地域の未来の姿をつくる</b> (板倉中学校)
<b>住民ワークショップ</b> <b>【第3回】</b> 11月25日(火) 午後6時30分から [会場] 板倉コミュニティプラザ 市民ホール	<b>定住を実現するためのアイデアを出しあう</b> 具体的に取り組む3本柱及び可視化した地区の 情報をもとに、分野別に取り組みを話し合い、 出された案をとりまとめる 
<b>成果発表会</b> 12月14日(日) 午後1時30分から [会場] 板倉農村環境 改善センター	<b>地域の未来について語る</b> 本年度の予測や分析、検討結果を報告。 地域住民と情報を共有するとともに 取り組みの発表と意見交換 



板倉区(平場ヤングⅡ)

福祉

コミュニティ・その他

農林(漁)

商工・観光

防災・交通

子育て・教育

- 県立有恒高校
- 県立上越特別支援学校 有恒学舎

- 板倉区総合事務所
- 板倉区地域協議会
- 板倉コミュニティプラザ
- NPO 板倉まちづくり振興会

- JAえちご上越 板倉支店
- JAえちご上越 板倉青年部・女性部
- 板倉区認定農業者会
- 板倉区農業振興会
- 板倉区中山間地域農業振興会
- (有)穂海農耕
- 田中産業(株)
- (株)LightField

- より広域を活動範囲とする団体市全体や市外(北部工業団地)
- 上越南商工会
- 郵政局(2)
- 板倉交番
- 市消防団 板倉方面隊
- 市交通安全協会 板倉支部
- 市防災士会 板倉支部
- 板倉区防犯協会
- 板倉区予約型コミュニティバス

- 板倉中学校 PTA
- 各小中学校運営協議会
- いたくら保育園
- 子育てひろば
- 放課後児童クラブ
- 板倉青少年育成会
- 板倉子ども育成会 連絡協議会(7)
- 板倉スポーツクラブ(3)
- 板倉農業者トレーニングセンター
- 板倉北部スポーツセンター
- 板倉地区公民館
- 板倉クライミングセンター(旧山部小)

- 市社会福祉協議会 板倉支所
- 上越あたご地域包括支援センター板倉(サテライト)
- 特養 いたくら桜園
- 施設が広い
- 居宅介護支援事業所 いたくら桜園
- 板倉居宅介護支援事業所
- みやじまの里 清心荘
- 板倉ふれあい工房
- 運動部以外のクラブもあれば
- 板倉生活支援ハウス
- 板倉地区食生活改善推進委員会
- 板倉地区運動普及推進協議会

- JAえちご上越 板倉支店
- JAえちご上越 板倉青年部・女性部
- 板倉区認定農業者会
- 板倉区農業振興会
- 板倉区中山間地域農業振興会
- (有)穂海農耕
- 田中産業(株)
- (株)LightField

- 郵政局(2)
- 板倉交番
- 市消防団 板倉方面隊
- 市交通安全協会 板倉支部
- 市防災士会 板倉支部
- 板倉区防犯協会
- 板倉区予約型コミュニティバス
- 光ヶ原高原
- 光ヶ原高原ファン倶楽部

- 板倉小学校 PTA
- 豊原小学校 PTA
- 旧宮島小
- 旧山部小
- 旧寺野小
- 旧筒方小

- 針地区連絡協議会 9町内会
- 豊原地区連絡協議会 9町内会
- 宮島地区連絡協議会 9町内会
- 山部地区連絡協議会 7町内会
- 筒方地区連絡協議会 6町内会
- 寺野地区連絡協議会 7町内会

- そば生産組合(山越、米増)
- どうがたの郷土産物生産組合
- そば生産組合(柄山、大野沢尻、筒方、達野)
- 活動組織(21) (多面的交付金)
- 集落協定(2) (中山間地域等直払)
- 集落営農型農業法人(7)
- 農家組合
- 農業生産組合
- 用水組合
- 機械利用組合

- いなかの味まんま
- 米コッコ
- 寺野いろりばた
- 地すべり資料館
- 山寺薬師
- 板倉方面隊 分団(2)
- 消防部(10)
- 自主防災組織

子ども会

より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体

板倉区(平場ベテランⅡ)

福祉

コミュニティ・その他

農林(漁)

商工・観光

防災・交通

子育て・教育

- 県立有恒高校
- 県立上越特別支援学校 有恒学舎

- 板倉区総合事務所
- 板倉区地域協議会
- 板倉コミュニティプラザ
- NPO 板倉まちづくり振興会

- JAえちご上越 板倉支店
- JAえちご上越 板倉青年部・女性部
- 板倉区認定農業者会
- 板倉区農業振興会
- 板倉区中山間地域農業振興会
- (有)穂海農耕
- 田中産業(株)
- (株)LightField

- より広域を活動範囲とする団体市全体や市外(北部工業団地)
- 上越南商工会
- 郵政局(2)
- 板倉交番
- 市消防団 板倉方面隊
- 市交通安全協会 板倉支部
- 市防災士会 板倉支部
- 板倉区防犯協会
- 板倉区予約型コミュニティバス

- 板倉中学校 PTA
- 各小中学校運営協議会
- いたくら保育園
- 子育てひろば
- 放課後児童クラブ
- 板倉青少年育成会
- 板倉子ども育成会 連絡協議会(7)
- 板倉スポーツクラブ(3)
- 板倉農業者トレーニングセンター
- 板倉北部スポーツセンター
- 板倉地区公民館
- 板倉クライミングセンター(旧山部小)

- 市社会福祉協議会 板倉支所
- 上越あたご地域包括支援センター板倉(サテライト)
- 特養 いたくら桜園
- 施設が広い
- 居宅介護支援事業所 いたくら桜園
- 板倉居宅介護支援事業所
- みやじまの里 清心荘
- 板倉ふれあい工房
- 運動部以外のクラブもあれば
- 板倉生活支援ハウス
- 板倉地区食生活改善推進委員会
- 板倉地区運動普及推進協議会

- JAえちご上越 板倉支店
- JAえちご上越 板倉青年部・女性部
- 板倉区認定農業者会
- 板倉区農業振興会
- 板倉区中山間地域農業振興会
- (有)穂海農耕
- 田中産業(株)
- (株)LightField

- 郵政局(2)
- 板倉交番
- 市消防団 板倉方面隊
- 市交通安全協会 板倉支部
- 市防災士会 板倉支部
- 板倉区防犯協会
- 板倉区予約型コミュニティバス
- 光ヶ原高原
- 光ヶ原高原ファン倶楽部

- 板倉小学校 PTA
- 豊原小学校 PTA
- 旧宮島小
- 旧山部小
- 旧寺野小
- 旧筒方小

- 針地区連絡協議会 9町内会
- 豊原地区連絡協議会 9町内会
- 宮島地区連絡協議会 9町内会
- 山部地区連絡協議会 7町内会
- 筒方地区連絡協議会 6町内会
- 寺野地区連絡協議会 7町内会

- そば生産組合(山越、米増)
- どうがたの郷土産物生産組合
- そば生産組合(柄山、大野沢尻、筒方、達野)
- 活動組織(21) (多面的交付金)
- 集落協定(2) (中山間地域等直払)
- 集落営農型
- 農家組合
- 農業生産組合
- 用水組合
- 機械利用組合

- いなかの味まんま
- 米コッコ
- 寺野いろりばた
- 地すべり資料館
- 山寺薬師
- 板倉方面隊 分団(2)
- 消防部(10)
- 自主防災組織

子ども会

より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体



重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
柱① 働く場所を確保する	・企業と地元商店との話し合い	・試作品の作成	・板倉区の農産物を販売する
柱② ジビエ活用 (狩猟)	・巻狩り、有害鳥獣駆除用くくり罠の同行	・狩猟免許取得 ・ジビエ解体	・ジビエ料理の提供、有害鳥獣駆除隊に参加 ・ハンター育成
柱③ 特産物の共同開発(寺野・筒方)	・話し合いと試作品の検討	・特産物の販売	・ジビエの皮を加工し、製品化 ・特産物をふるさと納税の返礼品にする

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
柱① 自然の活用	・水源地での除草剤や農薬散布をやめる ・アクセスを良くする ・光ヶ原高原に補給物を置く ・自販機を自転車コース上に置く	・有機的な農法の理解や学びを深めて、農作物の価値を高める ・空き校舎のグラウンドをシェアし畑に変える	・使っていない農地に植林をする。主に広葉樹。山の動物の餌にもなる ・お試して住める家(半年間～) ・山のカフェ ・信越トレイル上に山小屋を作る
柱② クライミング	・大会開催 ・体験会開催 ・やすらぎ荘100円割引 ・YawaYawaマーケットとの連携	・民泊などの拠点を設ける。(ゲストハウスなど)	・合宿施設や宿泊施設
柱③ 子どもの夢	・大人の思惑だけでは押しつけるだけという共通認識を広める ・子どもへのアンケート	・子どもたちの本当にやりたいこと祭り	・子どものインターン。やりたいことを本気でやる機会や期間を設ける

チーム名：平場ベテランⅠ

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
柱① 移住受入れ 窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体との調整、話合いの場を作る</li> <li>・板倉区の空家バンク作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任者を設ける(移住コンシェルジュ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の相談窓口設置</li> </ul>
柱② 雇用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業関係者の受入れ、体験活動、広報活動</li> <li>・移住希望者相談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地(耕作地)の紹介(組織作り)</li> <li>・休耕地の活用</li> <li>・仮住まい紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地の確保</li> <li>・子育て相談窓口設置</li> </ul>
柱③ 地産地消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青空市場の設置(希望者を募る)(B級品の販売)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青空市場出荷者の組織作り</li> <li>・販売所の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路拡大(施設や学校給食に活用)</li> <li>・子ども食堂の設置</li> </ul>

チーム名：平場ベテランⅡ

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
柱① 観光による 来訪人口の 増	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備(草刈りなど)</li> <li>・統合的なプロモーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WinWinによるプロモーション</li> <li>・周遊プランの作成</li> <li>・パワースポット巡り</li> <li>・リラクゼーションスポット巡り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー会社と連携した観光プラン</li> <li>・自転車を利用したスポーツツーリズム</li> <li>・トランポビクスを活用したスポーツツーリズム</li> </ul>
柱② 地元食材の 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばの生産者との顔合わせ</li> <li>・ジビエ調査</li> <li>・ジビエを知らない人に教える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばの一貫調達体制の研究</li> <li>・ジビエのメニュー化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばの一貫調達の確立</li> <li>・宿泊可能レストラン(オーベルジュ)</li> <li>・ジビエをオーベルジュで食べさせる</li> </ul>
柱③ 互助(支え合 い)の道筋を つける ～やさしい地 域づくり～ ◀ 34P ▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ把握(雪下ろしなど)</li> <li>・草刈り等</li> <li>・協力者さがし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エントリーシステムの構築</li> <li>・報酬制度の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互助システムの運用開始</li> <li>・満足度調査</li> </ul>

チーム名：平場ヤングⅠ

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
柱① 情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS・ブログで発信する</li> <li>・子どもたちにも参加してもらおう</li> <li>・板倉区の魅力を発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家情報などを発信する</li> <li>・生活体験など、体験事業を行って発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住を検討している人へ発信する</li> <li>・移住してきた人からも発信してもらおう</li> <li>・会社化する(下の柱にもつなげる)</li> </ul>
柱② 交通の利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを調査・把握する</li> <li>・いろいろなやり方を試してみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線の再構築</li> <li>・上越妙高駅にも路線が欲しい</li> <li>・板倉の特産品などを駅に運んでもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊バスを作る(病院、買い物、通学路など)</li> <li>・区内はバス利用無料にする</li> <li>・待つ場所も作る</li> <li>・会社化する</li> </ul>
柱③ 建物・施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺野小学校の利活用(宿泊・合宿施設など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングで他の未利用施設を整備する</li> <li>・体験事業(そば打ち、笹団子、米作りなど)の体験施設にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が増えてきたら、管理・運営が必要なので、会社化する(雇用につながる)</li> </ul>

チーム名：平場ヤングⅡ

重点取組 3本柱	短期的 (来年度)	中期的 (2～3年)	長期的 (5年)
柱① 暮らし (交通+住まい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板倉から北新井または上越妙高までのバス運行に関するニーズ調査</li> <li>・朝晩(通勤通学)は路線バスの運行</li> <li>・空き家の所在を調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北新井または上越妙高までのバスのテスト運行</li> <li>・空き家の情報収集(所有者、空き家の状況など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北新井または上越妙高までのバスの本格運行</li> <li>・空き家リノベーションの仕組み、体制づくり</li> <li>・リノベーションした空き家の売買、賃貸</li> </ul>
柱② 特色ある教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品(楽器)などの貸し出し</li> <li>・クライミング体験(小・中学生)</li> <li>・板倉の人が板倉を知るツアー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を知った上で“映え”スポットづくり、発見</li> <li>・職場体験対象者の拡充(低・高学年まで)</li> <li>・職場体験を親子参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の確保</li> </ul>
柱③ 特産品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈りボランティア募集</li> <li>・特産品づくり体験</li> <li>・農業機械を利用した農業体験イベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業エキスパート養成講座</li> <li>・特産品づくりを受け継ぐ伝道師養成講座(そば打ち、ちまきなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈りバイト(1か月単位)</li> <li>・特産品づくりを仕事にできる仕掛け</li> </ul>

板倉区の情報発信

板倉区地区別まちづくりワークショップ 取組表

	柱① 地域産業の活性化	柱② 自然資源活用と観光振興	柱③ 移住促進と住居整備
短期 (1年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元商店と企業間の話し合いを行いプロジェクトを立ち上げる。</li> <li>○ B級品や廃棄品農作物を活用した市場設置。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 信越トレイルやアクセス改善の準備。</li> <li>○ クライミングやスポーツイベントの試行的開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家バンクや移住相談窓口の急設。</li> <li>○ 短期住居お試し制度開始。</li> </ul>
中期 (2~3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域でのジビエ解体・食品化を積極進展。</li> <li>○ 板倉区特産物のクラウドファンディング進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山小屋の設置、観光コース整備。</li> <li>○ 地元での周遊プラン作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住者向けの仕事紹介や耕地提供を整備。</li> <li>○ 仮住まい制度の運営。</li> </ul>
長期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特産物をふるさと納税の返礼品化。</li> <li>○ 地産地消を確立し、外部へも販路を開拓。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然を活かした大規模イベント(観光フェスなど)。</li> <li>○ 地域交通との効率的連携を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住者向け専用インフラ(教育関連施設や相談窓口)が充実化。</li> <li>○ 「移住歓迎フェア」を定期開催。</li> </ul>

	柱④ 教育・文化の振興	柱⑤ 互助活動の促進と地域コミュニティ強化	柱⑥ 情報発信と外部との連携強化
短期 (1年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元ツアーの試験導入。</li> <li>○ 子供たちへの体験型農業・狩猟プログラム提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域内での雪下ろしや草刈りなど短期支援活動スタート。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SNS やブログを活用して地域情報を発信。</li> <li>○ 外部団体連携試作プロジェクトの立ち上げ。</li> </ul>
中期 (2~3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合宿施設や空き校舎の教育向け転用。</li> <li>○ 地域内の文化設備活用を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活支援者・指導者の拡張と協力者ネットワーク構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 板倉区の魅力を全国に発信するイベントを開く。</li> <li>○ 地元特産品を活用したプロモーションコンテンツ作り。</li> </ul>
長期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害のない地域の教育体系を構築。</li> <li>○ 板倉区が特色ある教育モデルとして外部へ発信。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の共助モデルを定着させ、全国に発展。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際的な地域連携活動(輸出や観光誘致)を進行。</li> </ul>

柱①

地域産業の活性化(山間地・ベテランチーム)

取組の概要

短期

いちば  
市場の設置

中期

ジビエ、  
山菜の商品化

長期

外部への  
販路拡大

推進体制

	中心となる組織等(候補)	中心となる組織等の取組内容(どんなことを)	実施主体【実行部隊】となる人や組織・団体(誰が、誰と)	実施主体【実行部隊】の役割・取組内容(どんなことを)
短期	・まちづくり振興会 ・JA	・販売の仕組みづくり ・広報活動	・まちづくり振興会(えしんの里) ・JA女性部	・外部への視察 ・売り場の確保 ・商品の集荷 ・イベントの開催
中期	・猟友会 ・寺野地区と筒方地区	・狩猟免許の取得 ・集荷、販売の仕組みづくり	・いたくら猟友会 ・連絡協議会	・ジビエの解体加工施設の整備 ・販売先の選定 ・ジビエレシピの開発 ・加工商品の検討
長期	・上越市	・ふるさと納税	・農業振興会	・新商品の開発 ・猟友会の新人発掘 ・鳥獣被害の対策

柱②

自然資源活用と観光振興(山間地・ヤングチーム)

取組の概要

短期

- ①クライミングの体験会や大会を通じて、板倉にかかわる人口を増やす。
- ②光ヶ原高原に補給物や自販機を設置する。

中期

- ①お寺や公民館などを宿泊施設として利用できるようにする。
- ②山小屋づくり(ワークショップとして実行)

長期

- ①バスの運行など交通の便を良くし、自転車を積み込める車両を用意。
- ②グリーンパル光原荘の復活

推進体制

	中心となる組織等(候補)	中心となる組織等の取組内容(どんなことを)	実施主体【実行部隊】となる人や組織・団体(誰が、誰と)	実施主体【実行部隊】の役割・取組内容(どんなことを)
短期	・板倉まちづくり振興会 ・上越市 ・新潟県	・予算の確保 ・各実施団体との交渉	・やすらぎ荘 ・YAWAYAWAマーケット ・Light field ・板倉区山間地域農業振興会 ・新潟県山岳協会 ・信越トレイル事務局 ・関原正礎さん	・体験会や大会の開催 ・大会や体験会に参加した方へ、やすらぎ荘で利用できる割引券の配布 ・YAWAYAWAマーケットにて体験会の開催 ・光ヶ原高原に設置する補給物(野菜)の提供や設置 ・自動販売機の設置(ラインナップに特色あるもの)
中期	・板倉まちづくり振興会 ・上越市 ・新潟県	・お寺や自治体、町内会からの利用許可を取得 ・管理費などの検討 ・寝具等の手配	・智泉寺 ・関田自治区 ・大野自治区	・施設の案内 ・山小屋づくりのワークショップの開催 ・ワークショップにて自伐型林業で発生した間伐材の利用
長期	・板倉まちづくり振興会 ・上越市 ・新潟県	・車両の確保 ・運行ダイヤの検討 ・管理人の設置	・運送業者 ・光ヶ原ファンクラブ ・板倉まちづくり振興会	・クライミングの大会会場や体験会場、宿泊施設、をつなぐバスの運行。 ・小学校の改装工事、施設の充実化 ・グリーンパル光原荘を宿泊や体験施設として復活させる。

## 柱③

## 移住促進と住居整備(平場・ベテランⅠチーム)

## 取組の概要

短期

空き家情報の収集

中期

移住受け入れの組織づくり

長期

移住情報の一元化と拡散

## 推進体制

	中心となる組織等(候補)	中心となる組織等の取組内容(どんなことを)	実施主体【実行部隊】となる人や組織・団体(誰が、誰と)	実施主体【実行部隊】の役割・取組内容(どんなことを)
短期	・町内会	・空き家情報の収集	・町内会 ・民生委員 ・地域協議会 ・中山間地域農業振興会 ・商工会	・空き家情報データベースの作成
中期	・地域の各団体により結成された協議会(新設)	・移住受け入れ体制の整備	・協議会(町内会、商工会、不動産会社、農協)	・町内会の紹介(手引)、勧誘 ・業者や組合との提携 ・地域の担当者を決める ・移住相談窓口の開設 ・おためし移住制度
長期	・協議会	・移住にかかわる情報の発信、紹介	・町内会 ・システム開発会社	・チラシ作成、ホームページの開設 ・マッチングアプリの開発

## 柱④

## 教育・文化の振興(平場・ヤングⅡチーム)

## 取組の概要

短期

地元ツアーの試験導入

中期

合宿施設や空き校舎の教育向け転用

長期

板倉区が特色ある教育モデルとして外部へ発信

≪ 38P ≫

## 推進体制

	中心となる組織等(候補)	中心となる組織等の取組内容(どんなことを)	実施主体【実行部隊】となる人や組織・団体(誰が、誰と)	実施主体【実行部隊】の役割・取組内容(どんなことを)
短期	・まちづくり振興会	・ツアーの受け入れ窓口 ・地域の名人発掘 ・大学への宣伝	・まちづくり振興会 ・町内会 ・市(下支え)	・ちまき、笹ずし、そば打ち体験 ・地域の魅力発見ツアーの開催(地域の内と外から) ・伝統技術の継承、価値の見直し
中期	・まちづくり振興会	・校舎の使い方に関する意見のとりまとめ ・ニーズ調査	・市 ・民間企業	・ニーズに合わせた校舎の改修
長期	・まちづくり振興会	・発見された魅力を活かす取組の内容を広くPR	・まちづくり振興会(住民)	・内外で認識された魅力、価値ある文化の発信 ・保育園から高校、さらには社会人でも学べるまちのPR

柱⑤

互助活動の促進と地域コミュニティ強化(平場・ベテランⅡチーム)

取組の概要

短期

住民が求める支援ニーズの把握

中期

- ①受付・発注の仕組み作り
- ②受け皿の構築
- ③支援内容の拡大

長期

持続可能な財源運用  
持続可能な地域づくり

推進体制

	中心となる組織等(候補)	中心となる組織等の取組内容(どんなことを)	実施主体【実行部隊】となる人や組織・団体(誰が、誰と)	実施主体【実行部隊】の役割・取組内容(どんなことを)
短期	・板倉区まちづくり振興会	・住民の要請に応じてサロンバスの運行 ・運行の仕組み作り	・振興会職員(サロン・町バス)	・買物支援(現状のベースの中で実現可能)
中期	・板倉区まちづくり振興会	・単発案件のマッチング仕組み作り ・地域内互助のフォロー作成 ・事務局機能の強化 ・財源確保(補助の要請) ・ライドシェア特区の申請	・振興会職員(アルバイト含む) ・塗装、板金、足場業者 ・板倉建築組合 ・中山間地域農業振興会 ・タクシー会社	・住民が望む生活支援の実施(例:草刈り支援、雪下ろし支援、側溝清掃支援等) ・移動支援(ライドシェア)
長期	・板倉区まちづくり振興会 ・新法人	・継続的な収入減の確保 ・運営担当の確保 ・地域基幹産業への人材派遣	・地元住民(セカンドキャリアとしての活躍の場) ・移住者(雇用の創生) ・地域営農組織	・解決課題の継続(地元解決型) ・地域基幹産業の事業継続

柱⑥

情報発信と外部との連携強化(平場・ヤングⅠチーム)

取組の概要

短期

SNSの立ち上げ、発信をする

中期

板倉区の魅力を発信するイベントを開く、イベントに参加する

長期

- ①新会社を設立する
- ②道の駅を開設する
- ③移住促進・企業誘致の発信をする

推進体制

	中心となる組織等(候補)	中心となる組織等の取組内容(どんなことを)	実施主体【実行部隊】となる人や組織・団体(誰が、誰と)	実施主体【実行部隊】の役割・取組内容(どんなことを)
短期	・総合事務所 ・学校	・SNS開設 ・小中学生に向けたSNS開設の講習会	・総合事務所職員 ・小学生高学年 ・中学生 ・高校生	・ネタ出し、編集案出し ・学校の様子の発信 ・生活の様子を発信(田んぼ、四季など) ・色々な組織の活動内容の発信 ・他の柱の内容の発信
中期	・まちづくり振興会 ・総合事務所	・区の魅力を発信するイベントを開く ・その他イベントの計画 ○花火大会・まつり ○地区運動会	・商工会 ・学生 ・ボランティア	・特産品のアピール ・着ぐるみ作成(いたくらけいと) ・光ヶ原高原の整備(キャンプ場など) ・東京や上越市内でのイベントに参加し、区の魅力を発信していく
長期	・新会社 ・総合事務所	・空き家・空地の情報提供 ・雇用促進	・新会社代表 ・板倉区民	・新会社が道の駅(のようなもの)を作る ・光ヶ原高原をスキー場や、雪まつりができる場所に整備する ・大学or専門学校を誘致する ・「働く」、「住む」、「遊ぶ」、「学ぶ」のすべてができる場所を作り、板倉の魅力として発信する ・移住の場所、上越市から出た人が戻ってくる場所として発信していく

上地第 2-8 号  
令和 8 年 1 月 9 日

板倉区地域協議会  
会長 小林政弘 様

上越市長 小菅淳一  
(総合政策部地域政策課)

上越市過疎地域持続的発展計画（案）について（通知）

令和 7 年 12 月 2 日付けで答申のあった諮問第 131 号上越市過疎地域持続的発展計画（案）について、下記のとおりとします。

記

上越市過疎地域持続的発展計画（案）について計画策定手続を進めることとします。今後パブリックコメントを経て、令和 8 年上越市議会 3 月定例会に所要の議案を提出します。

## 各区地域協議会からの附帯意見に対する回答

番号	区名	附帯意見	回答
1	吉川区	・吉川区地域協議会が実施した住民アンケートにおいて、吉川区の重要な観光資源として住民の多くが活性化を強く望んでいる「尾神岳」と「道の駅よしかわ杜氏の郷」の施設整備について、吉川区の住民の総意として、これらの事業への優先的な事業実施をしてください。	・市では、第7次総合計画に掲げる将来都市像「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」の実現に向け、必要な施策を講じているところであり、そうした中で、市域の約7割を占める過疎地域の持続的発展が図られることは、市全体の安全・安心な生活の確保につながるものであることから、過疎地域の実情に十分留意し、必要な取組を行ってまいります。
2	吉川区	諮問に際しては、地域住民との意見交換や意向確認及び地域協議会での審議時間が必要であるため、諮問から答申までには十分な時間をとるようにしてください。	過疎地域持続的発展計画の策定に当たっては、国が示す方針との調整、県との協議を始めとする手続に時間を要するところではありますが、市としては、今後も地域協議会における審議時間を十分確保できるよう努めてまいります。